取扱説明書

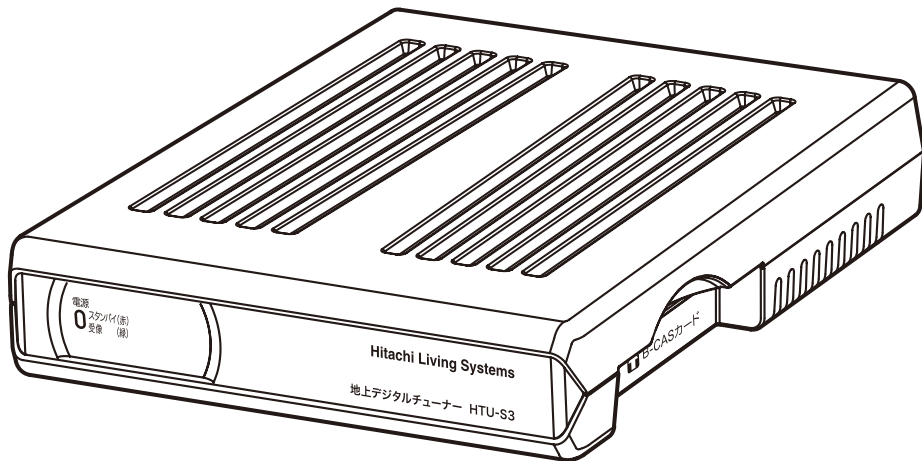
日立リビングサプライ

保証書付 保証書はこの取扱説明書の裏表紙に付いています。
必ず記入を受けてください。

地上デジタルチューナー

形名

HTU-S3

このたびは、お買い上げいただき、ありがとうございました。
正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。

※本機はハイビジョン映像は出力しません。

本機を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。
This unit is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

ご使用になる前に

本機で受信できるテレビ放送について

地上デジタル放送

地上波のUHF帯の電波を使って行われるデジタル放送です。高品質（ゴーストや雑音のない）・高画質の映像を楽しむことができます。関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログテレビ放送およびBSアナログテレビ放送は、2011年7月までに終了することが国の法令によって定められています。

※本機は字幕・文字スーパーを除くデータ放送サービス・双方向サービスには対応しておりません。また本機で地上アナログ放送の受信はできません。

地上デジタル放送の受信方法について

アンテナでご視聴の場合

地上デジタル放送を受信するためにはUHFアンテナが必要です。現在お使いのアンテナがUHFまたはUHF/VHF混合アンテナの場合はそのまま使用できる可能性があります。また、UHFアンテナの向きの変更が必要な場合があります。
詳細については、お近くの電器店やアンテナ設置業者にご相談ください。
詳しくは21ページをご覧ください。

ケーブルテレビでご視聴の場合

ご契約のケーブルテレビ会社にご相談ください。詳しくは22ページをご覧ください。

マンションなど集合住宅の場合

お住まいの共聴設備が地上デジタル放送に対応しているか、管理組合または管理会社等にお問い合わせください。

B-CASカードについて

デジタル放送を見るには本機に付属のB-CAS（ビーキャス）カードが必要です

■ B-CASカードの取り扱いについて

- カードの説明書の文面をよくお読みください。
- カードを挿入しないと、著作権保護されたデジタル放送を視聴することができません。
- カードは常時挿入しておいてください。
- カードを紛失、破損したり、盗難にあったときは、㈱ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズカスタマーセンターにご連絡ください。（カード台紙に記載されています。）

もくじ

第1章　はじめに

第2章　準備する

第3章　地上デジタル放送を見る

第4章　メニュー操作のしかた

第5章　ご参考

第１章
はじめに

安全上のご注意

商品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
次の内容（表示・図記号）を理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示について

警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷＊1 を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害＊2 を負う可能性が想定される内容および物的損害＊3 のみの発生が想定される内容を示しています。

＊1： 重傷とは失明や、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒など後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要すものを指しています。
＊2： 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などを指しています。
＊3： 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害を指しています。

図記号の例

 気をつけなければならない。「注意」を示します。

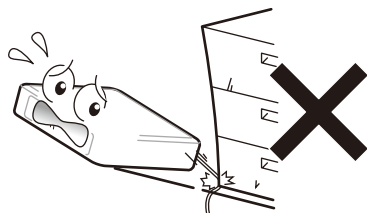
 感電に気をつけなければならない。「感電注意」を示します。

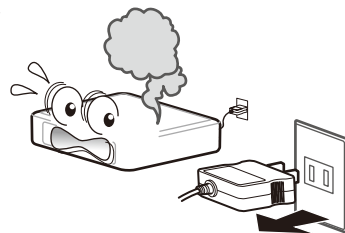
 してはいけない。「禁止」を示します。

 必ず行う。「強制」を示します。

警 告

**ACアダプタを傷つけないでください
火災・感電などの原因となります**

- 設置時に、製品と壁や床などの間に挟み込んだりしない
- ACアダプタを加工したり、傷つけたりしない
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない
- ACアダプタを抜くときは、必ず本体部を持って抜く

煙が出ている、変なにおいや音がするときは、すぐに本機の電源を切り、必ずACアダプタをコンセントから抜いてください

- 異常のまま使用すると、火災・感電の原因となります。
  煙が出なくなることを確認して販売店に修理をご依頼ください。

安全上のご注意（つづき）

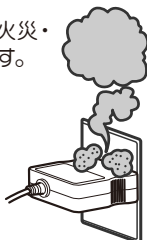
⚠警 告

ACアダプタは必ず付属のACアダプタを使用し、他のACアダプタを使用しないでください
また、本機のACアダプタを他の製品に使用しないでください

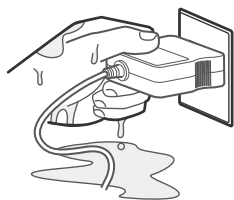
注意

ACアダプタにホコリなどが付着しているときは、ACアダプタを抜いて乾いた布で取り除いてください

ほこりを取る

・そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

ぬれた手でACアダプタを抜き差ししないでください

ぬれ手禁止

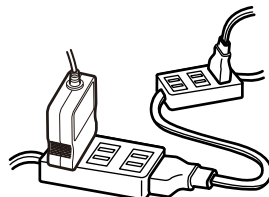
・感電の原因となることがあります。

ACアダプタは確実に差し込んでください

確実に差し込む

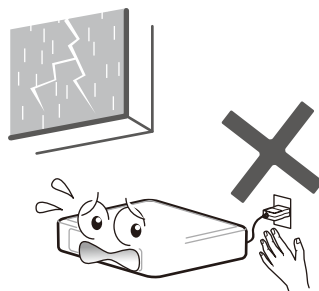
・差し込みが不完全な場合は発熱したり、ほこりが付着して火災・感電の原因となることがあります。

タコ足配線をしないでください

禁　止

・火災や感電の原因となることがあります。

雷が鳴り出したら、本機やアンテナ線、ACアダプタに触れないでください

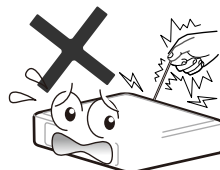
接触禁止

・感電の原因となります。

内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり入れたりしないでください

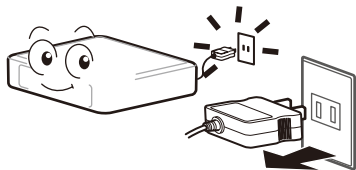
禁　止

・火災や感電の原因となることがあります。
万一異物が入ったときは、すぐ電源を切り、ACアダプタを抜いてください。

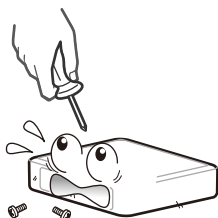
安全上のご注意（つづき）

⚠警 告

AC アダプタをすぐに抜くことができるように本機を据え付けてください

・本機が異常や故障となったとき、AC アダプタをコンセントに差し込んだままにしておくと、火災・感電の原因となることがあります。

本機は電源が「切」の状態でも、極微弱な電流が流れています。

本機を分解したり、改造したりしないでください

分解禁止

・内部には電圧の高い部分があるため、触ると感電の原因となります。

不安定な場所に置かないでください

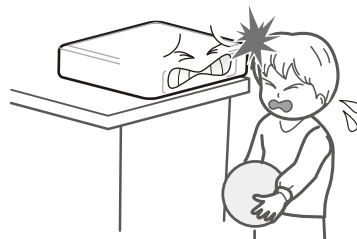
禁　止

・落下したりして、けがの原因となります。

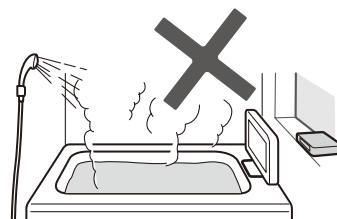
本機を頭や顔、手足などをぶつけるような場所に設置しないでください

禁　止

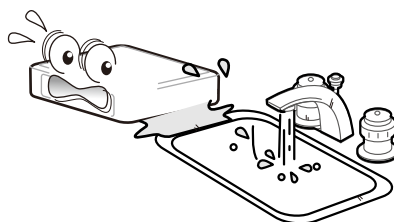
・けがの原因になることがあります。

特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

風呂、シャワー室では使用しないでください

風呂場やシャワー室での使用禁止

・火災・感電の原因となります。

水滴のかかる場所や、湿気、湯気、油気、ほこりの多いところには設置しないでください

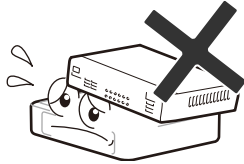
禁　止

・火災、感電の原因となることがあります。

安全上のご注意（つづき）

⚠警 告

重いものを置いたり、他の機器を重ねて置いたりしないでください

禁 止

・故障や火災などの原因となることがあります。

本機を医療機器の近く（同部屋）には設置しないでください

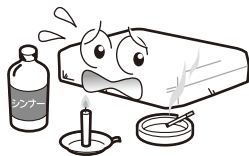
・医療機器の誤動作の原因となることがあります。

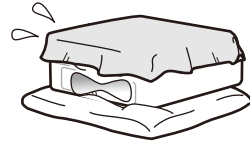
アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください

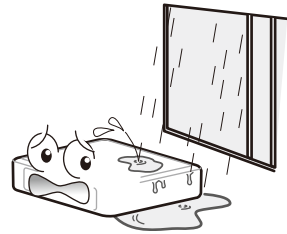
・送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

火のついたろうそく、蚊取り線香、タバコなどの火気や、揮発性の引火物を近づけないでください

火気禁止

・変形や火災のおそれがあります。

風通しの悪い所やじゅうたんの上に置いたり、布などをかけないでください

・内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。

本機に水をこぼしたり、ぬらしたりしないでください

・火災・感電の原因となります。
雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

近く、または上に花瓶など水の入ったものを置かないでください

水ぬれ禁止

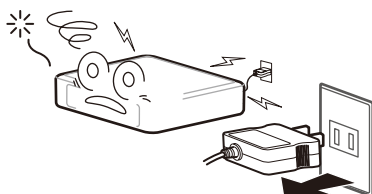
・水がこぼれるなどして中に入ると、火災、感電の原因となります。
万一水が入ったときはすぐ電源を切り、AC アダプタを抜いてください。

安全上のご注意（つづき）

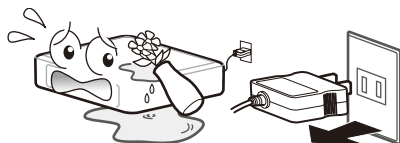
⚠注 意

画面が映らない、音が出ないなどの故障の場合には、すぐに本機の電源を切り、必ずACアダプタをコンセントから抜いてください

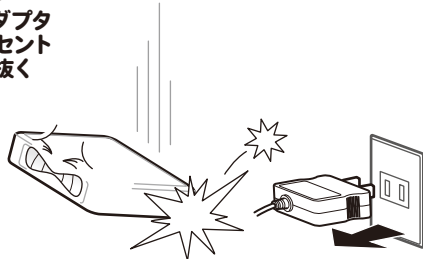
ACアダプタをコンセントから抜く

・それから販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

内部に水や異物などが入った場合は、すぐに本機の電源を切り、必ずACアダプタをコンセントから抜いてください

ACアダプタをコンセントから抜く

・それから販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
特に小さなお子様がいるご家庭ではご注意ください。

本機を落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐに本機の電源を切り、必ずACアダプタをコンセントから抜いてください

ACアダプタをコンセントから抜く

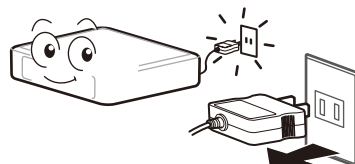
・それから販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

移動するときは、接続されている線をすべてはずしてください

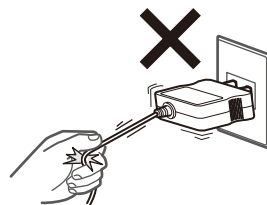
接続線をはずす

・コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

お手入れや長時間使用しないときはACアダプタを抜いてください

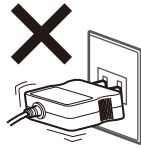
ACアダプタをコンセントから抜く

・感電や火災の原因となることがあります。

ACアダプタを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください

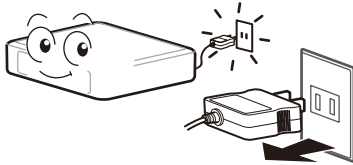
・コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずACアダプタを持って抜いてください。

安全上のご注意（つづき）

⚠注 意

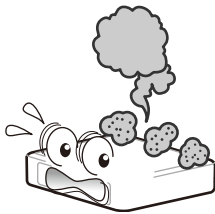
ACアダプタは根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しないでください

・発熱して火災の原因となることがあります。
販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

お手入れの際は、安全のためACアダプタをコンセントから抜いて行ってください

ACアダプタをコンセントから抜く

・感電の原因となることがあります。

通風孔に付着したほこりやゴミはこまめに取り除いてください

ほこりをとる

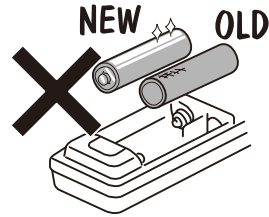
・火災の原因となることがあります。

年に一度くらいは、内部の掃除を販売店などにご相談ください

・本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。

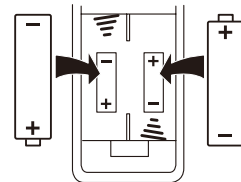
■ リモコンの取り扱いについて

指定以外の電池を使ったり、新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください

禁　止

・破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

電池の＋と－の向きを正しく入れてください

表示通りに入れる

・破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

アルカリ電池の液が漏れた場合は素手で触らないでください

接触禁止

・皮膚の炎症、失明やけがの原因となることがあります。目に入った場合は流水で洗い、眼科医へご相談ください。

※ 使用済み電池の処分について

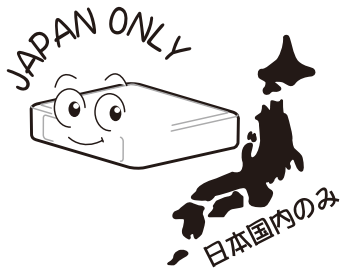
・使用済みの電池は地域の規則に従って処分してください。

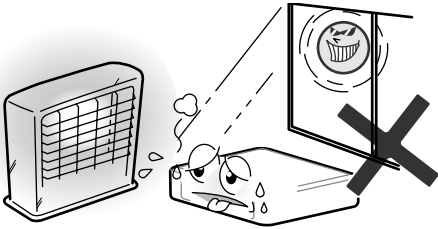
使用上のお願い

守っていただきたいこと

国外では使用できません

・ この製品が使用できるのは日本国内のみです。外国では放送形式、電源電圧が異なりますので使用できません。

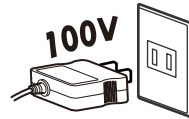
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

設置について

・ 発熱する機器の近くや直射日光の当たる場所には本機を置かないでください。

・ 本機の上には物を置かないでください。
・ 不安定な場所や湿気の多い所に置かないでください。
・ 窓際に置く場合は、雨や雪などで濡らさないようご注意ください。

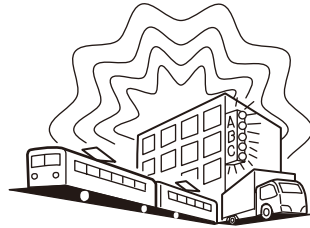
電源・電圧について

・ 指定（AC100V 50/60Hz）以外の電源は使わないでください。

指定以外の電源を使用した場合は故障の原因となります。

・ AC アダプタは、必ず付属品をお使いください。

UHF または UHF/VHF アンテナについて

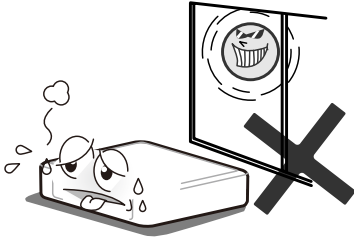
・ 妨害電波の影響を避けるため、交通の頻繁な自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。

万一、アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。

・ アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になる原因となります。
・ アンテナは風雨にさらされるため、定期的な点検・交換を心がけてください。特に、ばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが痛みやすくなります。映りが悪くなったときは、電器店や設置業者等にお問い合わせください。

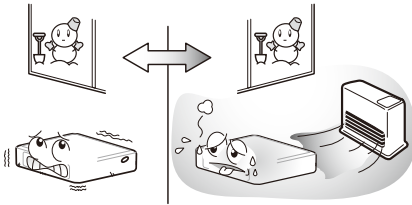
使用上のお願い（つづき）

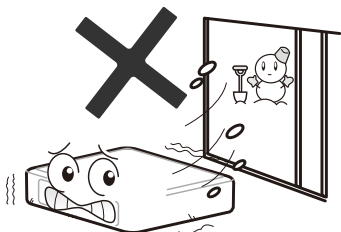
守っていただきたいこと（つづき）

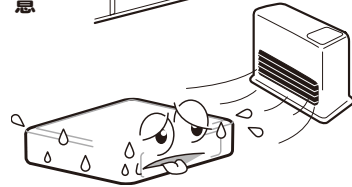
直射日光や熱気を避けてください

・直射日光が当たる場所や暖房器具の近くに置かないでください。
キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

・窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置したりすると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。

急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は避けてください

・急激な温度変化が起こる部屋（場所）でのご使用は画面の表示品位が低下する場合があります。

低温になる部屋（場所）でのご使用の場合

・低温になる場所には放置しないでください。
キャビネットの変形や故障の原因となります。
使用温度：0℃～ +40℃

結露について

・本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などでは、表面や内部に結露（水滴が付着）が発生することがあります。そのままご使用になると故障の原因となりますので、結露が起きた時は結露がなくなるまで AC アダプタをコンセントに接続しないでください。

平坦で安定する場所に設置してください

・傾斜面や、平坦でない面、カーペットなどの柔らかい面、変形した面などへの設置をさけてください。

・本機をフローリングに直接床置きすることはさけてください。フローリングの材質･表面状態によっては床面と本機のスベリ止めが強く密着し、本機を持ち上げた際、フローリングの表面がはがれる場合があります。

B-CAS カード挿入口に異物を挿入しないでください

・B-CAS カード以外のものを挿入しないでください。また、コインなどの金属物や異物を挿入しないでください。故障や破損の原因となります。

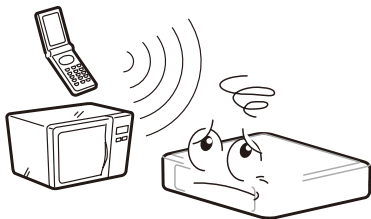
輸送する場合は、必ず本機用の梱包箱・クッションをご使用ください

・引越しや修理などで本機を運搬する場合は、本機用の梱包箱とクッション材をご使用ください。

使用上のお願い（つづき）

守っていただきたいこと（つづき）

電磁波妨害について

・ 本機の近くで携帯電話や他の電子機器を使うと、電磁波などによりお互いに悪影響を及ぼすことがあります。特にラジオ等が付近にある場合、雑音が入ることがあります。その場合は本機から離してご使用ください。

お手入れのしかた

・ お手入れの際は安全のため AC アダプタをコンセントから抜いてください。
・ 汚れはネルなどの柔らかい布で軽く拭き取ってください。
・ 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞って拭き取り、そのあと乾いた布で拭いてください。
・ 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。跡がついたり、変色などの原因となります。

使用上のご注意

・ あなたがビデオデッキなどで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用することはできません。

・ 本機の不具合により録画できなかった場合等の補償については一切応じられませんのであらかじめご了承ください。

・「お知らせ」などのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一本機の不具合によって、これらの情報が消失した場合の復元は不可能です。その内容等の補償については応じられませんのであらかじめご了承ください。

・ B-CAS（ビーキャス）カード（IC カード）はデジタル放送を視聴していただくための大切なカードです。B-CAS カードを挿入しないとデジタル放送番組を視聴できません。詳しくは 25 ページをご覧ください。

・ 一般家庭以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶等への搭載など）で使用されますと故障の原因となることがあります。

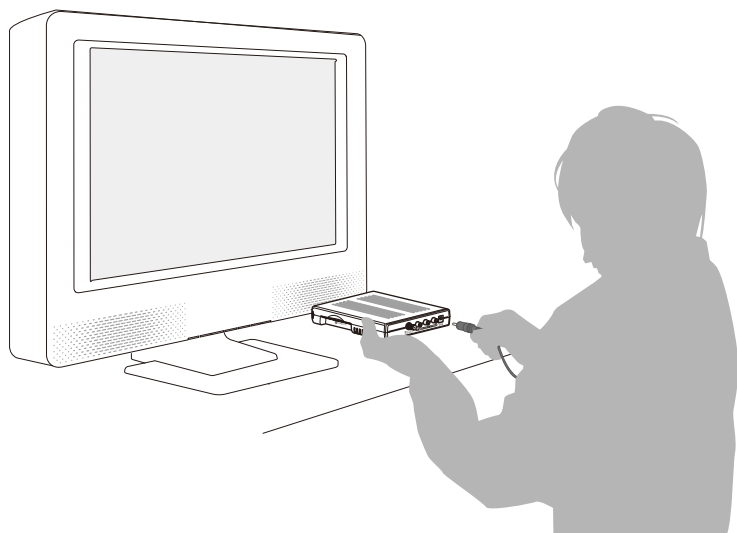
本機および本機の破片、付属品を廃棄するときは、必ず、販売店にご相談ください

テレビをご覧になるときは、適度な距離と明るさでご覧ください

・ 画面の縦の長さの 3 ～ 7 倍離れた場所でご覧になれば、見やすくて目が疲れにくくなります。
・ 暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。
・ 長時間連続して画面を見ていると目が疲れます。時々、画面から離れて目を休めてください。

適度な音量で隣り近所へ配慮してください

・ 特に夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりヘッドフォンを利用したりして、隣り近所に対し十分の配慮をして、生活環境を守りましょう。

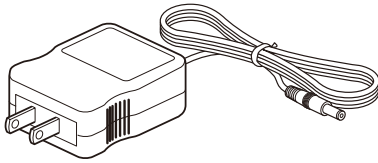
第２章
準備する

付属品

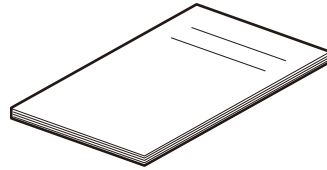
下記の付属品がすべて揃っているかご確認ください。

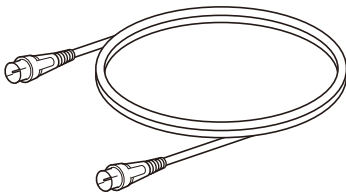
リモコン送信機

B-CAS（ビーキャス）カード

※本機には青色の B-CAS カードが付属しています。（必ず本機付属のものをお使いください。）

AC アダプタ〔1.8m〕

HTU-S3 専用 AC アダプタ
型名：AD-1079

取扱説明書（本書）

※保証書はこの取扱説明書の裏表紙についていますので、お買い上げの販売店の記入をお受けください。

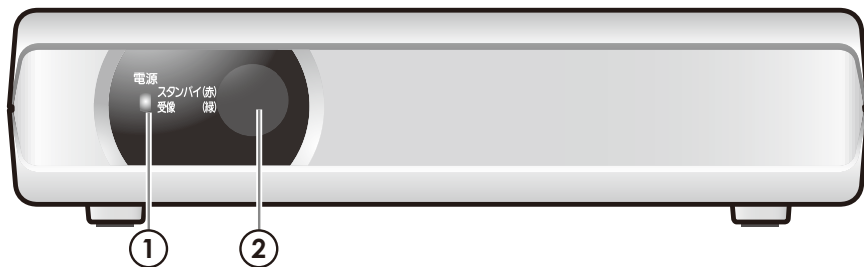
RF ケーブル〔1.8m〕

映像（コンポジット）・音声コード〔1.5m〕

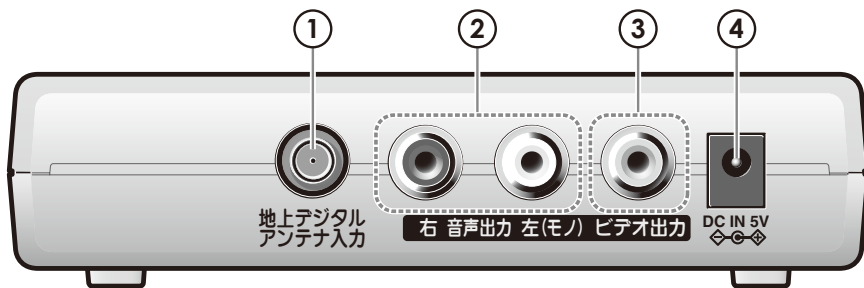
単 4 形乾電池（2 本）

※動作確認用

各部のなまえ（リモコン）

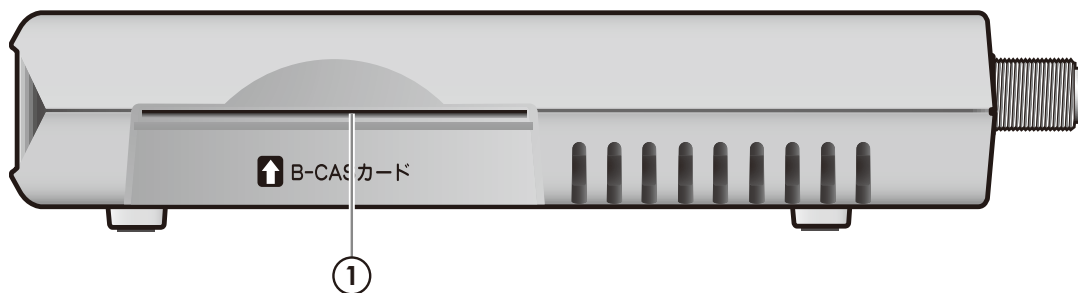
※ ［　　］ ボタンはテレビを操作するためのボタンです。このボタンでテレビを操作するには、テレビメーカーコードの設定が必要です（☞30 ページ）。
また、このボタンの操作時はご使用のテレビのリモコン受光部に向けて操作してください。
（本機のリモコン受信部に向けて操作しても動作しません。）

各部のなまえ（本体）

①**電源ランプ**
電源を入れると緑点灯し、電源切（スタンバイ）時に赤点灯します。

②**リモコン受光部**
リモコンの信号を受信します。

①**地上デジタルアンテナ入力端子**
地上デジタル放送対応アンテナを接続します。

②**音声出力端子**
テレビの音声入力端子に接続します。

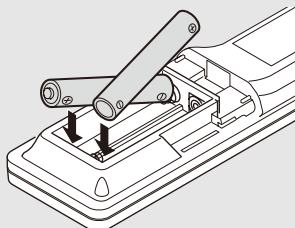
③**映像出力端子**
テレビの映像入力端子に接続します。
（②**音声出力端子**も同時に接続してください）

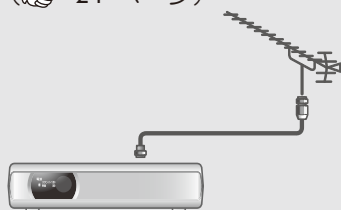
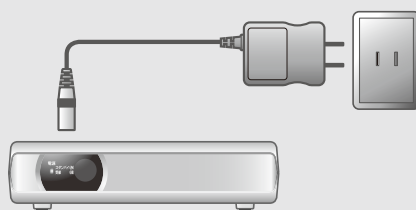
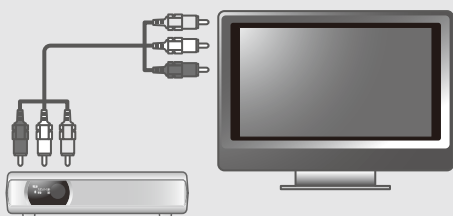
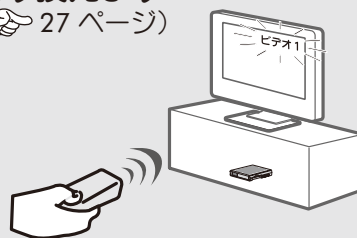
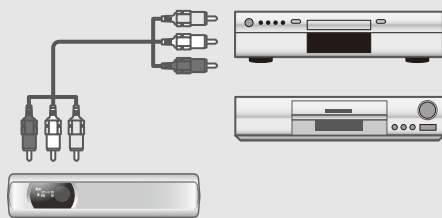
④**電源端子**
付属のACアダプタを接続します。

①**B-CASカード挿入口**
B-CASカード（付属）を挿入します。

準備する

ご使用の前に

お買い上げ後初めてお使いになるときは、次の手順で本機の準備をしてください。

1 リモコンに電池を入れます
（☞ 20 ページ）

5 B-CAS（ビーキャス）カードを挿入します
（☞ 25 ページ）

2 アンテナケーブルを接続します
（☞ 21 ページ）

6 AC アダプタを接続します
（☞ 26 ページ）

3 テレビを接続します
（☞ 23 ページ）

7 電源を入れ、入力を切り換えます
（☞ 27 ページ）

4 各機器を接続します
（☞ 24 ページ）

8 初期設定をします
（☞ 28 ページ）

・ 接続したテレビの設定
・ チャンネル設定

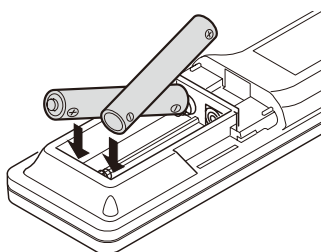
これで基本の接続と設定は完了です。

リモコンを準備する

乾電池の入れかた

1 カバーをあけます
カバーをスライドさせてはずします。

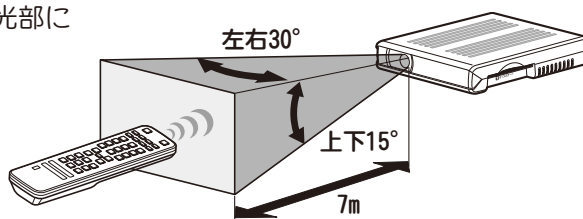
2 乾電池を入れます
単 4 形乾電池 2 本をケース内の表示通りに入れてください。
(⊕、⊖ の位置を正しく入れてください。)

3 カバーを閉めます
カバー上方にあるツメをリモコン本体内部に入れ、パチンと音がするまでスライドさせます。

ご注意

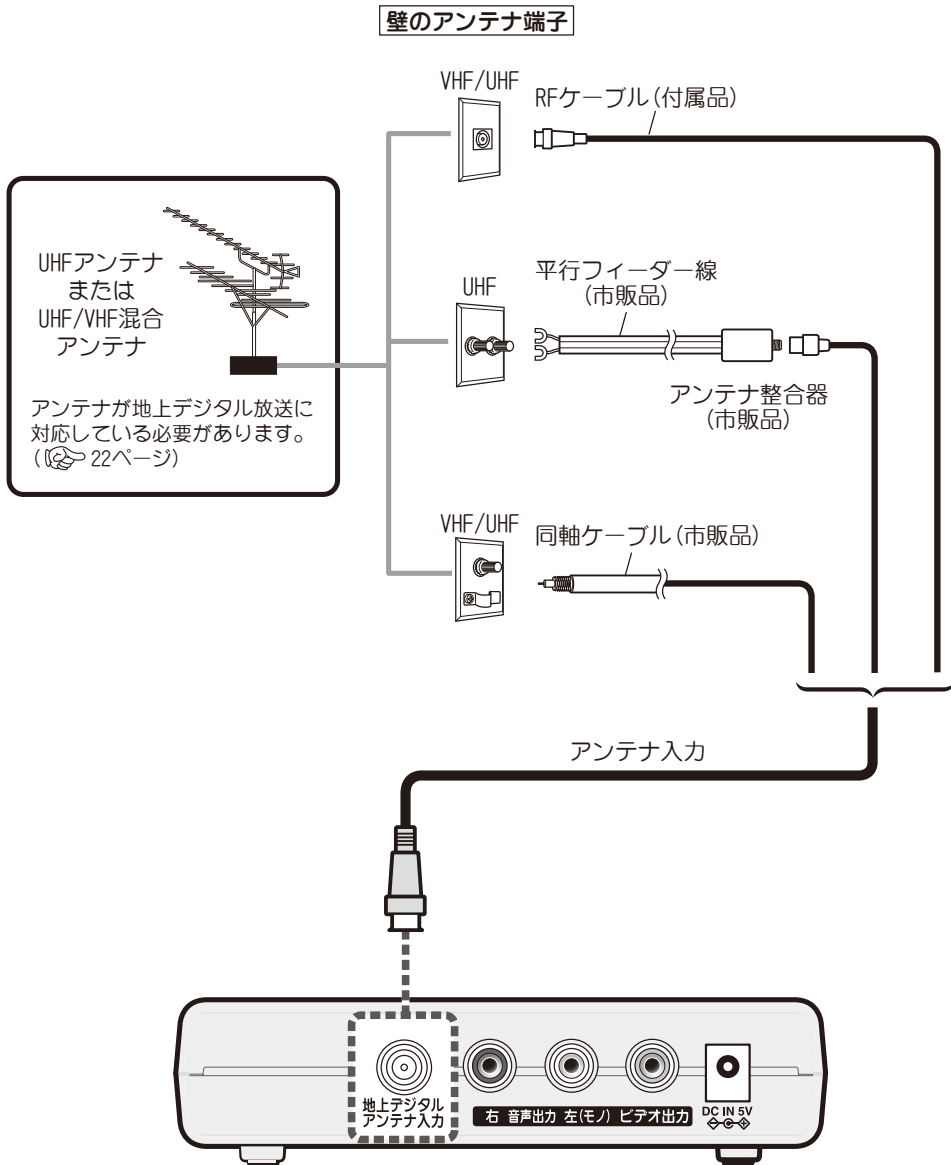
- 指定以外の電池を使ったり、新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。

使いかた

- リモコンの先端部を、本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

  リモコンの操作範囲は本体正面よりおよそ 7 メートル以内で、本体正面より左右 30°以内、上下 15°以内です。

- リモコン操作で本機が動作しない場合は、リモコンの乾電池寿命が考えられます。新しい電池に交換してください。
- リモコンを直射日光の当たる場所に放置したり、取り付けないでください。熱により変形したり、誤動作する場合があります。
- 本体のリモコン受光部に直射日光や強い照明が当たっているとリモコン操作がしにくくなります。照明または本機の向きを変えるか、リモコン受光部に近づけて操作してください。
- リモコンを落としたり、強い衝撃を与えないでください。また、水にぬらしたり温度の高いところに置かないでください。

アンテナを接続する

アンテナケーブル・整合器などを、使用するアンテナ端子に応じて接続し、
本機の地上デジタルアンテナ入力端子に接続してください。

ご注意

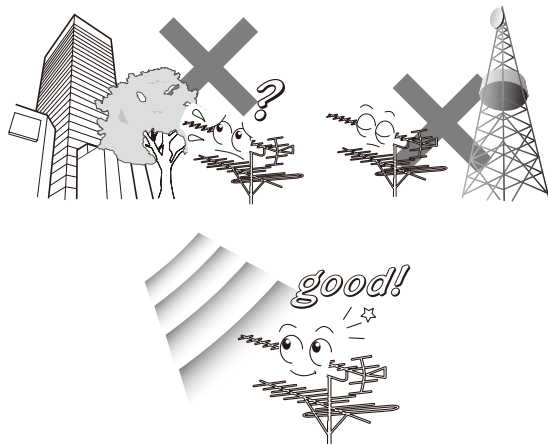
● アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

アンテナを接続する（つづき）

ご参考

● 地上デジタル放送受信アンテナについて

地上デジタル放送を受信するためには UHF アンテナが必要です（3 ページ）。

設置および接続が正しく行われていた場合でも、周辺に電波障害の原因となる高層建造物が建っていたり、発信基地が遠距離のため電波が弱い場合などは受信ができなかったり、特定の放送局しか受信できないなどの障害が発生することがあります。
このようなときは、電器店やアンテナ設置業者等にご相談ください。

地上アナログ放送受信用とは別に、地上デジタル受信用のアンテナを設置するときは、電器店やアンテナ設置業者等とご相談のうえ、アンテナを設置してください。

本機を設置・設定後、アンテナの受信レベルを確認することができます。詳しくは「アンテナレベル」（58 ページ）をご覧ください。

画像が映らない、または乱れるなどの問題がある場合は、「地上デジタル放送の受信ができないときは」（67 ページ）のフローチャートにしたがって、アンテナの準備や調整などを行ってください。または、「故障かな？と思ったら」（68 ページ）をご覧ください。

● きれいな画像をお楽しみいただくために

安定したデジタル映像をお楽しみいただくためにはアンテナの接続状態がとても重要です。

下記のようにアンテナの接続と設置を確実に行い、電波妨害を受けにくい安定した受信状態を確保してください。

- 本機の地上デジタルアンテナ入力端子への接続は、必ず付属の RF ケーブルをお使いください。
- アンテナ線は他のコードや接続ケーブルからできるだけ離してください。

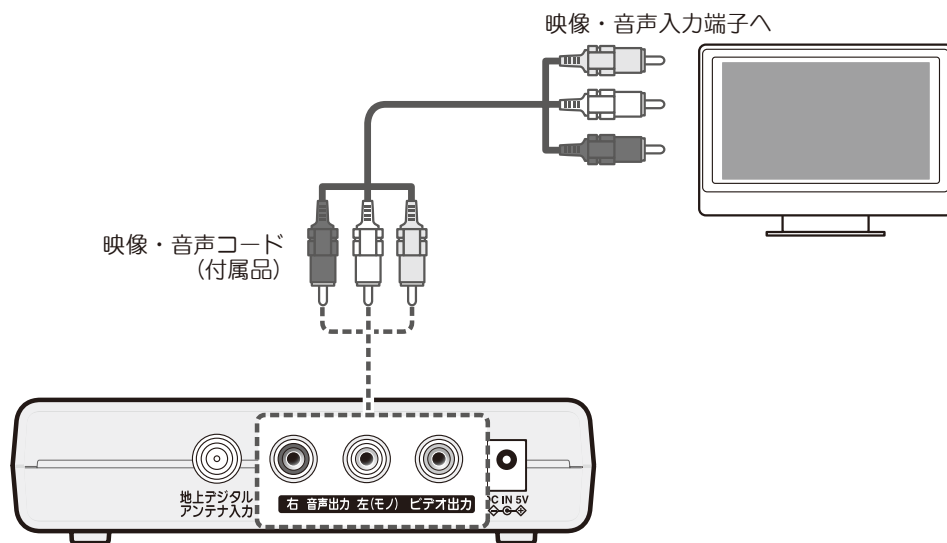
● CATV での受信について

CATV 受信にはいくつかの方式があります。本機は「同一周波数パススルー方式」および「周波数変換パススルー方式」に対応しています。「トランスモジュレーション方式」には対応していません。詳しくはご契約の CATV 会社にお問い合わせください。または、「地上デジタル放送の受信ができないときは」（67 ページ）のフローチャートにしたがってお確かめください。

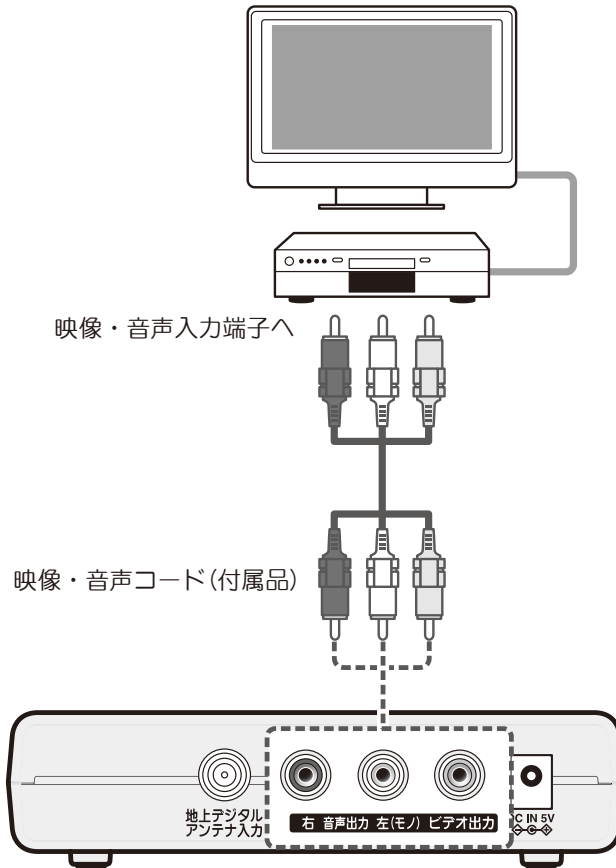
テレビを接続する

テレビを接続しない場合は、次の「ビデオや DVD レコーダーを接続する」
（☞ 24 ページ）へ進んでください。

ご注意

- テレビを接続するときは、必ず本機および接続するテレビの電源を「切」にしてください。
- 映像（黄）・音声（赤：右、白：左）接続用のプラグと端子は、色分けがしてあります。ケーブルと接続端子のそれぞれの色が合うように接続してください。
- テレビなどのモノラル音声入力端子に接続する場合は、本機の音声出力 左（モノ）端子に接続してください。音声出力 右端子は接続しないでください。
- 映像出力端子 / 音声出力端子には、映像 / 音声信号以外のものを接続しないでください。故障の原因となることがあります。
- 接続する機器の詳しい使用方法や接続については、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続時のご注意
  - ・プラグは奥まで完全に差し込んでください。不完全な接続は、ノイズの原因となります。
  - ・プラグを抜くときは、コードを引っ張らずにプラグを持って抜き取ってください。

ビデオや DVD レコーダーを接続する

他の外部機器を接続しない場合は、次の「B-CAS カードを挿入する」
（☞ 25 ページ）**へ進んでください。**

ビデオや DVD レコーダーなどの録画機器を本機に直接つないで受信番組を録画する場合は、
録画機器の入力端子に合わせて次のように接続してください。

ご注意

- **録画中に本機の操作をしないでください。**
  画面に表示される内容がそのまま録画されてしまいます。
- 接続する機器の詳しい使用方法や接続については、
  それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

B-CAS カードを挿入する

地上デジタル放送を視聴するには、本機に付属の B-CAS（ビーキャス）カードが必要です。

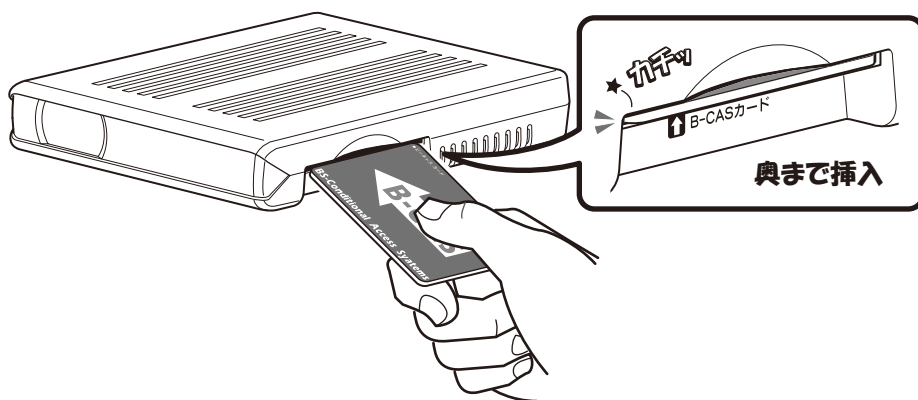
1 B-CAS カードを取り出します

付属の B-CAS カードを台紙から取り出します。
B-CAS カードのパッケージを開封すると、パッケージに添付されている契約約款に同意したものとみなされます。開封前に必ず契約約款をお読みください。

■ B-CAS カードについてのお問い合わせ（紛失など）
（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンター
TEL : 0570-000-250

準備する

2 B-CAS カードを挿入します

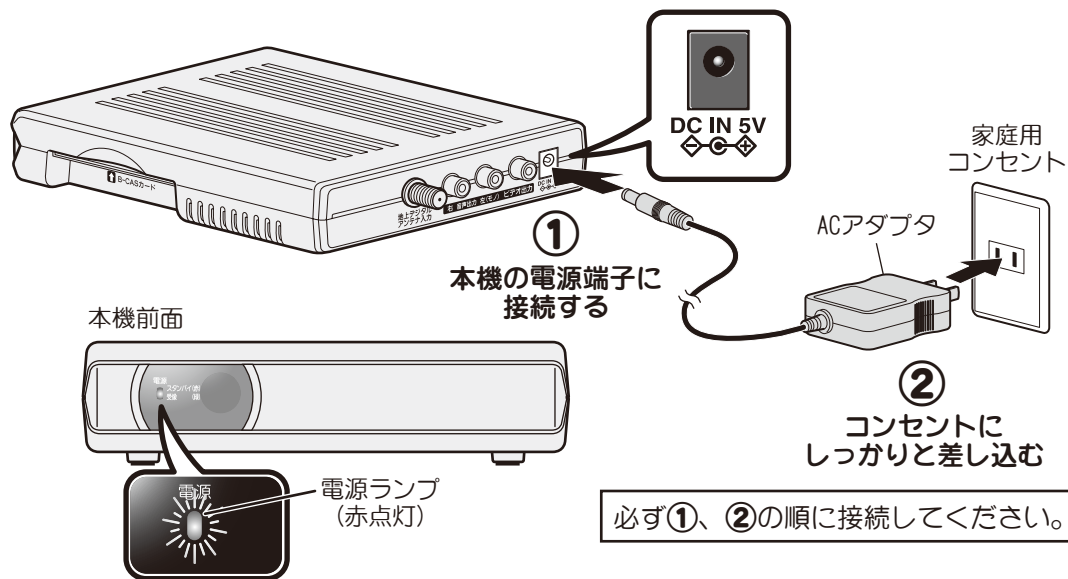
側面のスロットに付属の B-CAS カードを差し込みます。
図のように矢印のある印刷面を上側にし、矢印の先端を先にして奥まで挿入してください。

■ B-CAS カード 取り扱い上の注意点

- 折り曲げたり、変形させせない。
- 重いものを置いたり踏みつけたりしない。
- 水をかけたり、ぬれた手でさわらない。
- IC（集積回路）部には手をふれない。
- 分解加工は行わない。

ご注意

- 本機付属の B-CAS カード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違えると B-CAS カードは機能しません。
- B-CAS カードは奥まで挿入してください。
- ご使用中は B-CAS カードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。
- ご使用直後の B-CAS カードは温かくなりますので、抜き差しする場合はご注意ください。

AC アダプタを接続する

付属の AC アダプタを本機の電源端子に接続し、電源プラグを家庭用コンセントに
差し込んでください。本機前面の電源ランプが赤点灯し、スタンバイ状態となります。

ご注意

- AC アダプタは必ず本機に付属のものをご使用ください。
  他の AC アダプタは使用しないでください。
- 長期間ご使用にならないときは、必ず AC アダプタをコンセントから抜いてください。
- AC アダプタを抜き差しするときは、必ず本体部を持って行ってください。
- AC アダプタを抜き差ししやすいように、コンセントの近くに設置してください。
- AC アダプタの表面が温かくなりますが故障ではありません。
- 本機には電源ボタンはありません。AC アダプタを接続した時点でスタンバイ状態となります。

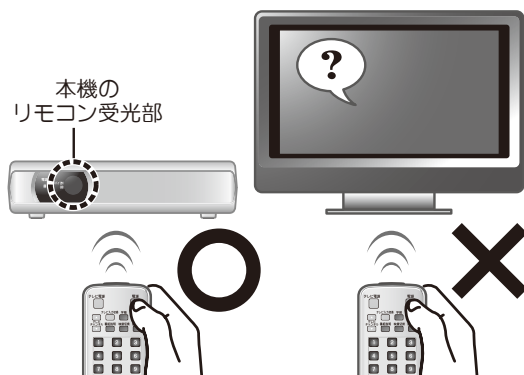
初期設定をする

ご購入後はじめて本機の電源を入れると、自動的に初期設定画面になり、デジタル放送受信に必要な設定を順に行うことができます。

初期設定は付属のリモコンで設定します

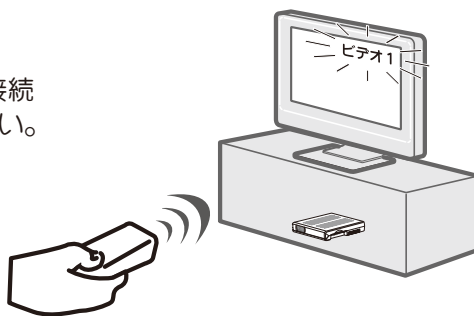
初期設定は [∧][∨][＜][＞] **ボタン**で項目を選び、[決定] **ボタン**を押して決定します。
また、テレビ画面上には設定中に使用できるボタンがガイド表示されます。

リモコン操作時にご注意いただくこと

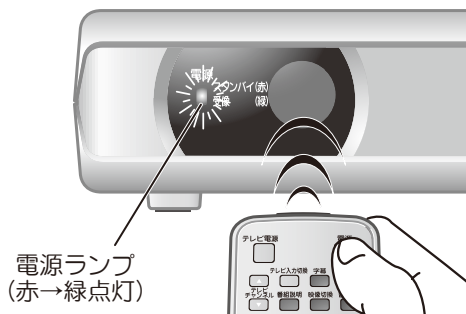
- 本機を初期設定するときは、リモコンを必ず本機のリモコン受光部に向けて操作してください。
- 本機のリモコンコードはご購入時「1」に設定されています。
  リモコンのコードスイッチも「1」になっていることを確認してください。

1 テレビの電源を入れ、入力を切り換えます

テレビの外部入力切換ボタンを押し、本機を接続した入力(☞23ページ)に切り換えてください。

※お使いのテレビにより“ビデオ1”や“外部入力1”など呼びかたが異なります。

※本機のリモコンでテレビの操作をするには初期設定完了後、テレビメーカーコードの設定（☞30ページ）を行ってください。

2 リモコンの電源ボタンを押し、本機の電源を入れます

電源が入り、電源ランプが赤から緑点灯に変わります。
画面には「接続テレビ設定」画面が表示されます。

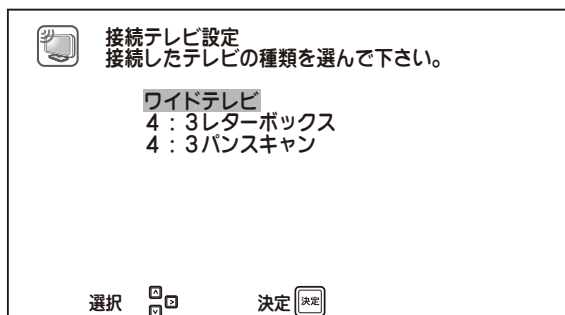
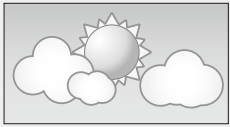
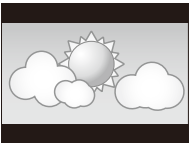
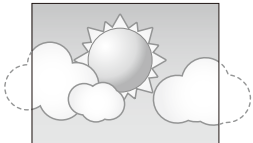
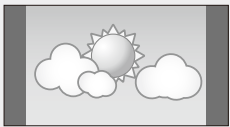
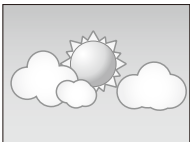
準備する

初期設定をする（つづき）

3 接続テレビ設定

接続したテレビの縦横比に合わせて［∧］/［∨］**ボタン**で選択し、［決定］**ボタン**を押します。

接続テレビ設定
接続したテレビの種類を選んで下さい。

ワイドテレビ
4：3レターボックス
4：3パンスキャン

選択　決定

ワイドテレビ
…ワイドテレビのとき

4：3 レターボックス または **4：3 パンスキャン**
…4：3 のテレビのとき

各設定による画面表示の違いについては下の「ご参考」をご覧ください。

ご参考

「4：3 レターボックス」「4：3 パンスキャン」各設定による画面表示の例

元の映像	「4：3レターボックス」	「4：3パンスキャン」
16:9 映像	上下に帯が入って表示されます。	縦いっぱいに表示されます。（ただし左右の一部がカットされます）
左右に帯が入った16:9 映像	上下左右に帯が入って表示されます。	画面いっぱいに表示されます。

※元の映像が4：3映像の場合は、どちらの設定でも画面いっぱいに表示されます。

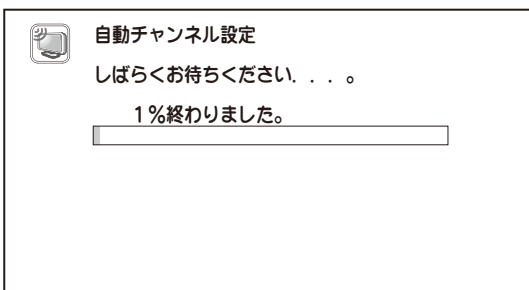
※ 4：3 レターボックス・パンスキャンの設定はリモコンボタンでも切り換えできます（☞ 48 ページ）。
※この設定はメニュー画面（☞ 62 ページ）でも再設定できます。
※この画面が表示されない場合は、68 ページをご覧ください。

初期設定をする（つづき）

4 自動チャンネル設定

受信チャンネルの自動設定プログラムがスタートし、画面には現在処理中の状態がグラフ表示されます。

自動チャンネル設定が終了すると、自動的にデジタル放送受信状態になり、画面には数字ボタン「1」に割り当てられたチャンネルが表示されます。

自動チャンネル設定
しばらくお待ちください．．．。
1％終わりました。

ご注意

- 受信状態が悪いと、本来受信できる放送局も受信できない場合があります（☞ 22 ページ）。
- アンテナが地上デジタル放送に対応している必要があります（☞ 22 ページ）。
- 画面が表示されない場合は、68 ページをご覧ください。

自動チャンネル割り当てについて

初期設定終了後、本機の選局ポジション（1 ～ 20）には、地上デジタル放送受信結果が設定されます。設定される内容は、お住まいの地域に対応した放送局名となります。

ご注意

チャンネルが自動登録されないときは…

- アンテナが地上デジタル放送に対応していないことが考えられます。詳しくは「地上デジタル放送が受信できないときは」（☞ 67 ページ）をご覧ください。
- アンテナが正しく接続されているか、再度確認してください。

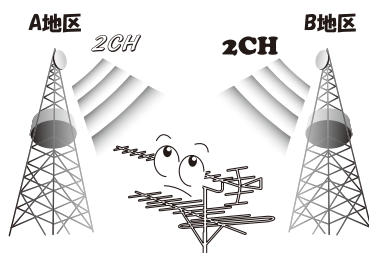
準備する

初期設定をする（つづき）

自動チャンネル割り当てについて（つづき）

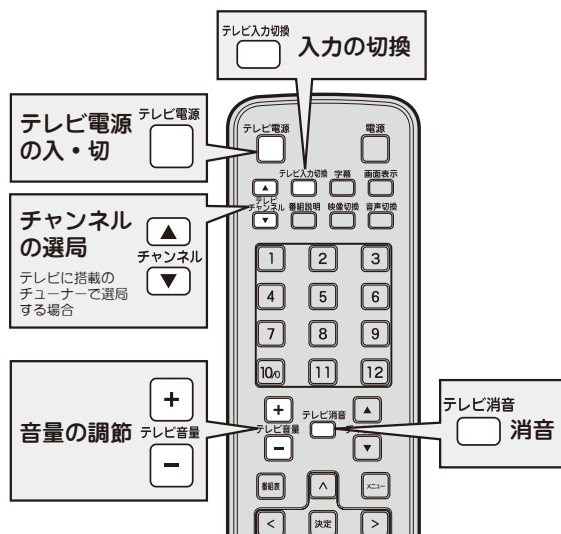
※受信チャンネルの自動設定プログラムは、お買い上げ後最初に本機の電源を「オン」にすると自動スタートしますが、チャンネル設定メニュー（☞58 ページ）で自動または手動でボタン割り当てを変更することもできます。また、ボタン割り当て変更設定画面で現在どのように設定されているかも確認できます。
チャンネル自動設定完了前に本機の電源を「オフ」にした場合は、次回「オン」にしたとき、再度初期設定画面を表示します。

ご参考

● お住まいの地域によっては他地域の地上デジタル放送局の電波が受信できる場合があります。
割り当てるチャンネル選局ボタンが同じ、複数の局を受信した場合、1 局以外はボタン表示されません。ボタン割り当て変更設定（☞59 ページ）でボタンの割り当てを行ってください。

テレビメーカーコードを設定する

本機のリモコンでテレビを操作する

テレビメーカーコードの設定を行うと、本機のリモコンを使って接続したテレビを操作することができます。
※あらかじめ登録されているテレビメーカー以外は対応していません。

右記のボタンでテレビの操作が行えます。
操作時は、ご使用の**テレビの**リモコン受光部に向けて操作してください。
（本機のリモコン受信部に向けて操作しても動作しません。）

テレビメーカーコードを設定する（つづき）

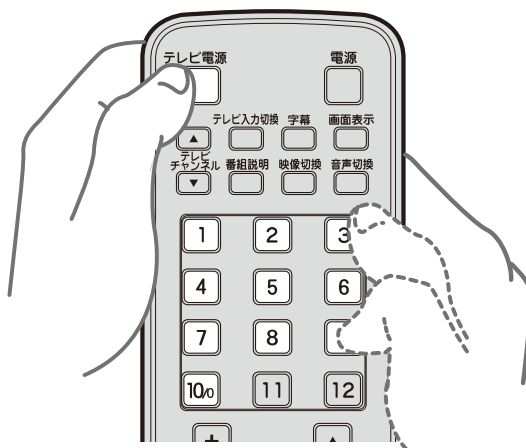
メーカーコード設定のしかた

1 **リモコンの テレビ電源 ボタンを押しながら、**

2 **ご使用のテレビメーカーのコード番号（2 桁）を押します**

複数のコード番号があるテレビメーカーの場合は、テレビが動作する番号に設定してください。

3 **テレビ電源 ボタンを離します**

設定後はテレビ電源ボタンを押してテレビの電源がオン・オフできるか確認してください。

テレビメーカー	コード番号
日立	00
ユニデン	01
シャープ	02, 03, 04
ソニー	05, 06, 07
東芝	08, 09, 10, 11, 12
パナソニック	13, 14
ビクター	15, 16, 17, 18
三菱	19, 20, 21
パイオニア	22, 23, 24
三洋	25, 26, 27, 28, 29, 30, 31
アイワ	32, 33, 34, 35
フナイ	36, 37, 38, 39, 40, 41, 42, 43
NEC	44, 45
富士通ゼネラル	46, 47, 48, 49
オリオン	50, 51
フィリップス	52, 53, 54
サムスン	55, 56, 57, 58, 59, 60, 61, 62, 63, 64
LG	65, 66, 67, 68, 69, 70, 71, 72, 73
DAEWOO	74, 75, 76
エプソン	77
I/O DATA	78
バイデザイン	79
Quixun	80

※上記メーカーのテレビでも、機種によっては対応できない場合がございます。

第 3 章

地上デジタル放送を見る

番組を見る

操作はリモコンで行います。

1 テレビの電源を入れ、入力を切り換えます

例えば、テレビの「ビデオ 1」端子に接続しているときは、テレビの画面に「ビデオ 1」と表示されるように、入力を切り換えてください。

2 本機の電源を入れます

リモコンの [電源] **ボタン**を押します。

前面の電源ランプが赤から緑点灯になり、電源が入ります。

3 チャンネルを選びます

● **数字ボタン（[1] ～ [12]）**で選ぶ

見たい放送局の番号を押します。

● **チャンネル選局（[▲] / [▼]）ボタン**で選ぶ

押すごとにチャンネルが変わります。押し続けると順送りでチャンネルを変えられます。

4 音量を調節します

テレビ音量（[+] / [−]）ボタンで音量を調節します。

5 音を一時的に消します

[テレビ消音] **ボタン**を押します。

もう一度 [テレビ消音] **ボタン**を押すと、元の音量に戻ります。

6 電源を切ります

リモコンの [電源] **ボタン**を押すと電源待機（スタンバイ）状態となり、電源ランプが赤点灯します。

ご参考

● 地上デジタル放送ではサブチャンネルでの放送が行われていることがあります。
数字ボタンを繰り返し押すと、サブチャンネルを選択できます（サブチャンネルでの放送がある場合のみ）。

例：

2 を 1 回 ⇒ 2_1（サブチャンネル 1）

2 を 2 回 ⇒ 2_2（サブチャンネル 2）

2 を 3 回 ⇒ 2_3（サブチャンネル 3）

ご注意

● 手順 1, 4, 5 の操作には、テレビメーカーコード設定（☞ 30 ページ）が必要です。
設定をすれば、付属リモコンからテレビ電源のオン・オフ、入力切換などの簡単なテレビ操作ができます。

簡易電子番組表を見る（番組表）

放送局から送られてくる番組情報をもとに、放送局別の番組一覧や、個々の番組内容などを見ることができます。番組表は現在から 7 日先まで表示されます。

■ 番組表を表示する

番組表 ボタンを押します

押すたびに番組表の表示 / 非表示が切り換わります。
現在見ている番組がハイライト（緑色）されます。

番組表のみかた

お知らせ

- 電源オン直後は番組表を表示するまでに約 1 分程度かかる場合があります。

簡易電子番組表を見る（番組表）（つづき）

■ 番組表から番組を選ぶ

同一時間帯の他局の番組を選ぶ（①）には

＜／＞ ボタンを押します

同一放送局の他の時間帯の番組を選ぶ（②）には

∧／∨ ボタンを押します

NHK総合　NHK教育

テレビ日本		チャンネル4　サブ1
今日	16:53　19:00	NNM　News　リアルタイム
	19:00　19:58	くるくるセブンティセブン　壮絶！オ
	19:58　20:54	土曜スペシャル・秋満喫！列車で行く
	20:54　21:00	NNMニューススポット・天気
	21:00　21:54	アップタウンＥＸ
	21:54　22:00	ウェザーウィークエンド
	22:00　22:54	未知の日本を撮りたい　～驚き映像の
	22:54　0:05	NEWS　ONE
明日	0:05　0:26	ハテナの女王

∧ ② ∨

■ 番組の詳しい情報を見る（番組詳細）

番組をハイライト（緑色）した状態で **決定 ボタン**を押すと、ポップアップメニューが表示されます。

∧／∨ ボタンで「番組詳細」を選択し、**決定 ボタン**を押すと、選んだ番組の詳細情報が表示されます。

「番組詳細」画面のみかた

番組詳細には、番組の内容や映像・音声情報など、選んだ番組に関するさまざまな情報が表示されます。

∧／∨ ボタンを押すと番組詳細の内容をスクロールできます。

※表示されるボタンの種類は、選択している番組や視聴予約の有無などによって変わることがあります。

- **ポップアップメニューへ戻るには**
  戻る または ＜ **ボタン**を押す
- **番組表を見るには**
  ＜／＞ **ボタン**で「番組表に戻る」を選択し、決定 **ボタン**を押す
- **視聴予約をするには**
  ☞ 38 ページ
- **予約の編集・取消をするには**
  ☞ 41 ページ

ご注意

- 番組情報が取得できていない場合は、番組詳細は表示されません。
- 番組詳細の映像情報の内容にかかわらず、本機は 480i の出力となります。

簡易電子番組表を見る（番組表）（つづき）

■ 指定した日時の番組表を見る（指定日時へジャンプ）

日時を指定して現在から 7 日先までの番組表を見ることができます。

番組をハイライト（緑色）した状態で［決定］**ボタン**を押し、ポップアップメニューを表示させます。

地上デジタル番組表　8/14(火)16:59

テレビ日本　チャンネル4　サブ1

今日	16:53	19:00	NNM　Ne
	19:00	19:58	くるくるセブン
	19:58	20:54	土曜スペシャル
	20:54	21:00	NNMニュース
	21:00	21:54	アップタウンE
	21:54	22:00	ウェザーウィークエンド
	22:00	22:54	未知の日本を撮りたい　～驚き映像の
	22:54	0:05	NEWS　ONE
明日	0:05	0:26	ハテナの女王

番組詳細
指定日時へジャンプ
視聴予約
予約一覧

選択　決定［決定］　終了［番組表］

［∧］/［∨］**ボタン**で「指定日時へジャンプ」を選び、［決定］**ボタン**を押すと、日時設定画面が表示されます。

［∧］/［∨］**ボタン**で日付を選択し、［決定］**ボタン**を押します。

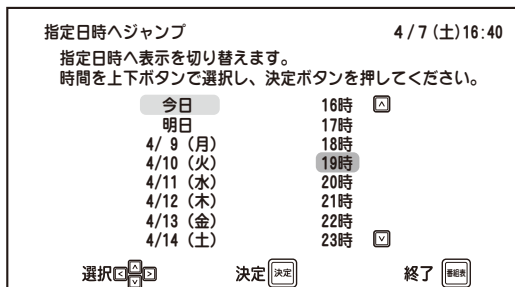
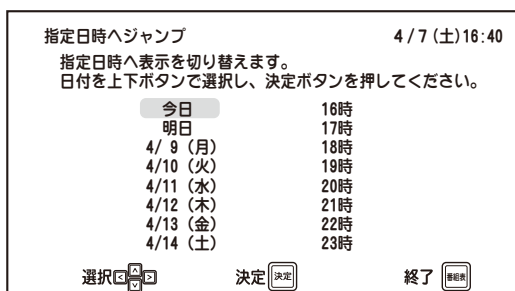
次に［∧］/［∨］**ボタン**で時間を選択し、［決定］**ボタン**を押します。

指定した日時の番組表が表示されます。

ご参考

- ［決定］**ボタン**を押す前に［＜］**ボタン**を押すと日付設定に戻ることができます。

■ 番組表を終了する

［番組表］**ボタンを押します**

地上デジタル放送を見る

番組表から視聴予約をする

番組表から番組を指定して現在から 7 日先までの視聴予約をすることができます。
視聴予約をすると、設定した時刻に自動的に本機の電源が入り、設定したチャンネルを選局します。
予約は最大 30 件まで登録することができます。

お知らせ

- 本機の視聴予約設定に合わせて、ビデオデッキなど本機の出力端子に接続した機器で録画設定をしておくと、デジタル放送を録画することができます（☞ 24 ページ）。
  ※ 録画機器側での録画設定が必要です。詳しくは、録画機器の取扱説明書をご覧ください。また、機器を接続する際には「ビデオや DVD レコーダーを接続する」（☞ 24 ページ）も併せてご覧ください。
- メニュー画面で日時を指定して視聴予約（タイマー予約）することもできます（☞ 54 ページ）。

視聴予約をする（番組表予約）

1 視聴予約する番組を選びます

番組表を表示させ、視聴予約したい番組を選びます。

番組名をハイライトした状態で 決定 ボタンを押すと、画面右上にポップアップメニューが表示されます。

地上デジタル番組表　8/14(火)16:59
テレビ日本　チャンネル4　サブ1

今日	16:53	19:00	NNM　News　リアルタイム
	19:00	19:58	くるくるセブンティセブン　壮絶！オ
	19:58	20:54	土曜スペシャル・秋満喫！列車で行く
	20:54	21:00	NNMニューススポット・天気
	21:00	21:54	アップタウンＥＸ
	21:54	22:00	ウェザーウィークエンド
	22:00	22:54	未知の日本を撮りたい　～驚き映像の
	22:54	0:05	NEWS　ONE
明日	0:05	0:26	ハテナの女王

選択　選局　決定　終了

※番組詳細画面からも同様に選べます。

∧ / ∨ ボタンで「視聴予約」を選択し、決定 ボタンを押します。

番組表から視聴予約をする（つづき）

2 視聴予約内容を設定します

画面上の各項目を [∧]/[∨] **ボタン**で選択し、[>] **ボタン**でカーソルを移動します。

[∧]/[∨] **ボタン**で設定値を変更し、[決定] **ボタン**を押します。

視聴予約登録（番組表予約）　10/10(水)10:10
テレビ日本
アップタウンＥＸ

チャンネル　：地上デジタル４　サブ１
日時　：10/10（水）21:00〜21:54
映像　：映像１
音声　：主音声　音声１
ズーム　：切
延長追従　：切
イベントリレー：切

登録

選択　決定　終了

「映像」　：複数の映像がある番組の場合に選択できます（☞47 ページ）。

「音声」　：複数の音声がある番組の場合に選択できます（☞46 ページ）。

「ズーム」　：ズーム画面表示に設定できます（☞48 ページ）。

「延長追従」　：スポーツ中継などで番組が延長された場合でも、終了するまで自動的に予約を延長します。

「イベントリレー」：高校野球中継など、番組の途中で別のチャンネルに切り換わる場合、自動的に予約が変更されます。

※番組によって選択できない項目があります。また放送局からの情報によっては、時間変更に対応できない場合があります。

3 予約登録を完了します

設定が終わったら [∧]/[∨] **ボタン**で「登録」を選択し、[決定] **ボタン**を押します。
登録が完了して番組表に戻ります。

視聴予約が登録されると、番組表に（タイマーアイコン）が表示されます。

ご参考

- 本機の電源が「入」のときは、予約開始時間の15 秒前になると画面左下にメッセージが表示されます。

  まもなく視聴予約の開始時刻です

  予約開始時刻になると、予約したチャンネルに切り換わります。
- 予約が終了すると…

  予約開始時に本機の電源が「入」の場合：そのままのチャンネルを表示します。
  「切」の場合：予約終了時に電源が「オフ」になります。

地上デジタル放送を見る

番組表から視聴予約をする（つづき）

ご注意

- 番組によって、録画や録音が制限されることがあります。
- 視聴予約の実行に失敗したときは、「お知らせ」（☞61ページ）にメッセージが追加されます。
- **視聴予約実行中は電源ボタン以外は操作できなくなります。**
- リモコンの電源ボタンを押すと、視聴予約を中止します。

画面左下に 視聴予約を中断しました と表示されます。

正しく予約登録が完了しないときは

視聴予約登録（番組表予約）　10/10(水)10:10
開始時刻が過ぎています。

NHK総合・東京
まさにプロフェッショナル　仕事とは「人は人が育

チャンネル　地上デジタル１　サブ１
日時　10/10(水)　10:00〜11:00

視聴開始

選択　決定　終了

登録する視聴予約の開始時刻が過ぎているときに表示されます。

決定 **ボタン**を押すと番組画面が表示され、予約が開始されます。

戻る **ボタン**を押すと、前の画面に戻ります。

視聴予約登録（番組表予約）　10/10(水)10:10
３件の予約と重複しますが登録しますか？

日付	開始　終了	番組名
10/17(水)	17:05〜17:50	まさにプロフェッシ
10/17(水)	17:15〜17:45	夕方ネットワーク
10/17(水)	17:55〜19:55	NHKイブニング

登録

選択　決定　終了

同じ日時にすでに視聴予約が登録されているときに表示されます。

戻る **ボタン**を押すと、前の画面に戻ります。

そのまま登録する場合は、決定 **ボタン**を押します。

※この場合、登録が完了しても予約が正しく機能しない（選局されない）場合があります。

番組表から視聴予約をする（つづき）

予約一覧と予約の編集・取消

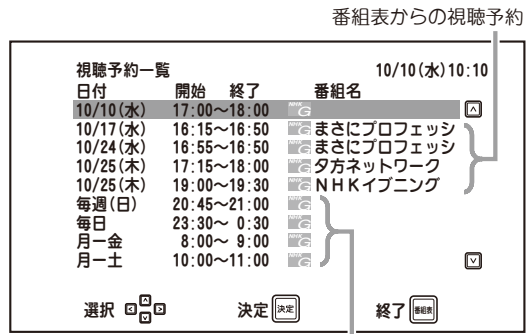
登録されている視聴予約を一覧で確認できます。また、予約の編集や取り消しをすることができます。

■ 視聴予約一覧を見る

1 番組表を表示中に［決定］**ボタン**を押すと、ポップアップメニューが表示されます。

2 ［∧］/［∨］**ボタン**で「予約一覧」を選んで［決定］**ボタン**を押すと、予約一覧画面が表示されます。

※視聴予約が１件も登録されていない場合は選択できません。

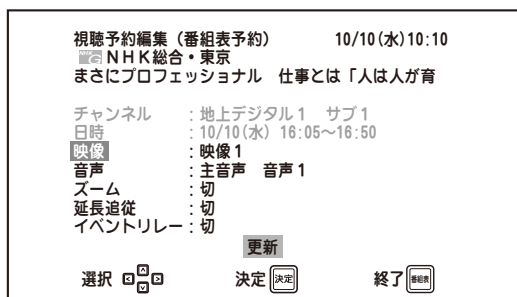
［番組表］**ボタン**を押すと終了します。

ご注意

● **予約の重複について**
灰色の文字で表示されている視聴予約は予約が重複しており、視聴予約が正しく機能しません。設定内容を再度ご確認ください。

番組表から視聴予約をする（つづき）

■ 視聴予約を編集する

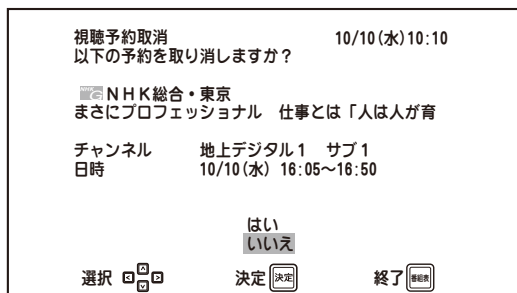
1 番組表から予約設定を編集したい番組を選んで 決定 **ボタン**を押すと、ポップアップメニューが表示されます。

2 ∧ / ∨ **ボタン**で「予約編集」を選んで 決定 **ボタン**を押すと、設定画面が表示されます。
編集のしかたや設定内容については「視聴予約をする」手順２（☞ 39 ページ）をご覧ください。

設定が終わったら ∧ / ∨ **ボタン**で「更新」を選択し、決定 **ボタン**を押します。

番組表 **ボタン**を押すと終了します。

■ 視聴予約を取り消す

1 番組表から取り消したい番組を選んで 決定 **ボタン**を押すと、ポップアップメニューが表示されます。

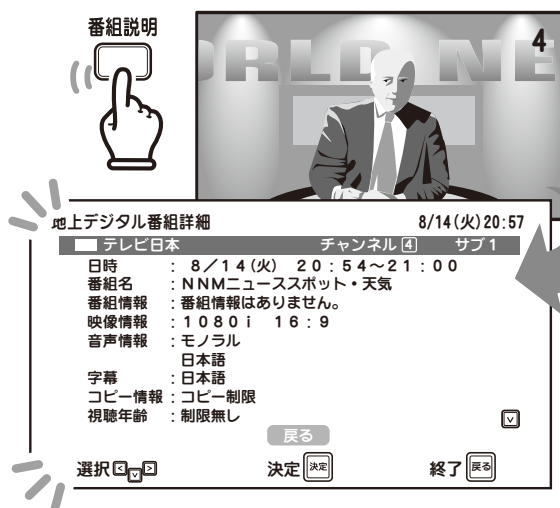
2 ∧ / ∨ **ボタン**で「予約取消」を選んで 決定 **ボタン**を押すと、予約取消確認画面が表示されます。

∧ / ∨ **ボタン**で「はい」を選択し、決定 **ボタン**を押すと、視聴予約が取り消されます。

番組表 **ボタン**を押すと終了します。

視聴している番組の番組情報を見る（番組説明）

地上デジタル放送では、視聴している番組の詳しい情報を見ることができます。

1 デジタル放送を視聴中に 番組説明 ボタンを押します

見ている番組の番組情報が表示されます。

2 決定 **ボタン**、または 番組説明 **ボタン**を押すと表示が消え、元の画面に戻ります。

ご注意

- 番組情報が取得できていない場合は、番組詳細は表示されません。
- 番組詳細の映像情報の内容にかかわらず、本機は 480i の出力となります。

チャンネル番号などを表示する（画面表示）

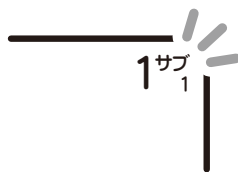
画面表示ボタンを押すと、現在受信中の番組情報・チャンネル番号が表示されます。

画面表示 ボタンを押します

画面上部に受信中のチャンネル番号や番組名などの情報、画面下部に時計が表示されます。

もう一度 画面表示 **ボタン**を押すと画面左上の表示が消え、さらにもう一度押すと全ての表示が消えます。

ご参考

- サブチャンネル放送がある場合、代表チャンネル番号の横にサブチャンネル番号が表示されます。

- **画面表示のみかた**
  画面左上に表示される情報として、次のものが表示されることがあります。

S	ステレオ放送番組	二	二ヶ国語放送番組
SS	サラウンド放送番組	解	解説音声付番組
字	字幕放送番組		

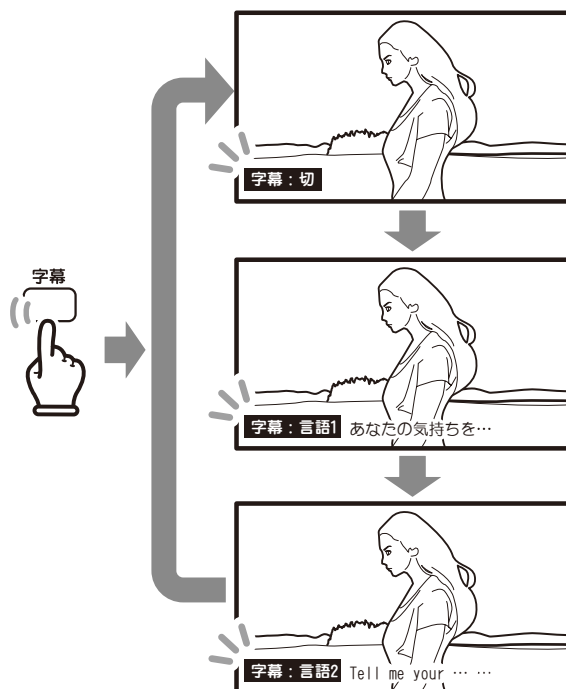
ご注意

- 画面表示を長時間表示した場合、テレビの表示パネルが焼き付くことがあります。

字幕を表示する（字幕）

映画やドラマなどの字幕を表示したり、消したりできます。

放送視聴中に 字幕 ボタンを押します

押すたびに切、言語 1、言語 2 と切り換わります。

ご参考

- 字幕がない番組の場合は、画面左下に

と表示されます。

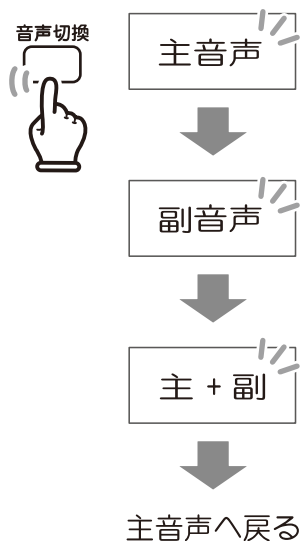
お知らせ

- 「言語 1」「言語 2」の表示は番組情報に依存します。
- 放送局側で字幕表示を消せない設定にしている番組もあります。
- メニュー画面で初期設定値を変更することができます（63 ページ）。

二ヶ国語音声を選ぶ（音声切換）

日本語と英語など二ヶ国語放送や複数音声番組の場合、音声を切り換えることができます。

音声切換ボタンを押します

チャンネル番号、音声（主音声・副音声・主＋副）が画面左下に表示されます。
ボタンを押すたびに「主音声」「副音声」「主＋副」の順に切り換わります。

ご参考

- 切り換える音声がない場合は、画面左下に

と表示されます。

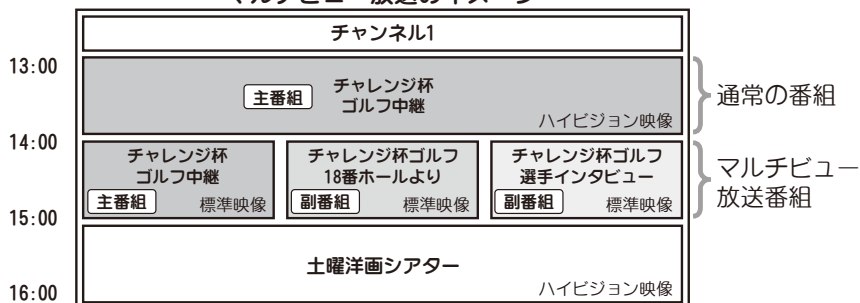
お知らせ

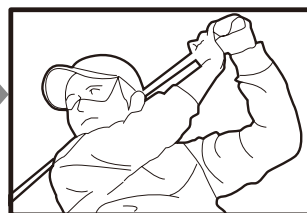
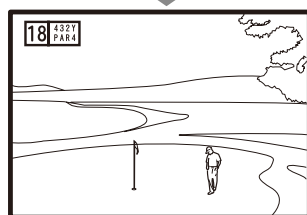
- 切り換える音声がない場合、ボタンを押しても切り換わりません。
- 主＋副にすると、左スピーカーから主音声、右スピーカーからは副音声が出力されます。
- 「主音声」「副音声」「主＋副」の表示は放送局側からの番組情報に依存します。
- メニュー画面で初期設定値を変更することができます（☞62ページ）。

マルチビュー放送を見る（映像切換）

お知らせ

- マルチビュー放送とは
  ひとつのチャンネル内で主番組・副番組の複数映像が送られる放送です（最大 3 チャンネル）。
  たとえばゴルフ中継など、主番組では通常の放送、副番組ではそれぞれ 18 番ホールの映像と、ホールアウトした選手のインタビュー映像を放送をするなど、視聴者が見たい場面を選択して見ることができる放送が行われる予定です。
  （2009 年 6 月現在、マルチビュー放送は行われていません。）

マルチビュー放送のイメージ

映像切換 ボタンを押します

ボタンを押すたびに、同一チャンネル内での放送が切り換わります。

ご参考

- 切り換える映像がない場合は、画面左下に

と表示されます。

地上デジタル放送を見る

ズーム画面表示にする（ズーム）

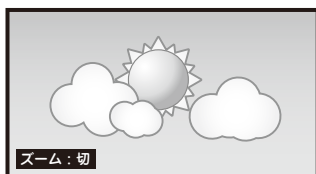
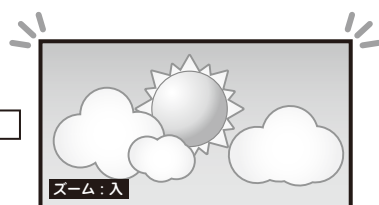
表示画面をズーム（拡大）表示することができます。

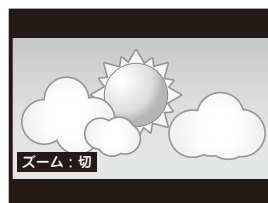
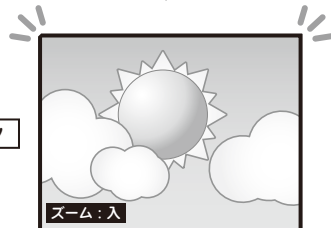
 ボタンを押します

ご参考

- ズーム表示はチャンネルを変えたり、電源を切るとノーマル表示に戻ります。

接続テレビ設定が「ワイドテレビ」設定の場合

ボタンを押すたびに画面がノーマル表示、ズーム表示に切り換わります。

接続テレビ設定が「4：3 レターボックス」・「4：3 パンスキャン」設定の場合

ボタンを押すたびに画面がレターボックス表示・パンスキャン表示に切り換わります。

※番組の映像情報によって、自動でズーム「入」になることがあります。
この場合は ズーム **ボタン**を押しても映像は変わりません。

※接続テレビ設定はメニュー画面（☞62 ページ）でも再設定できます。

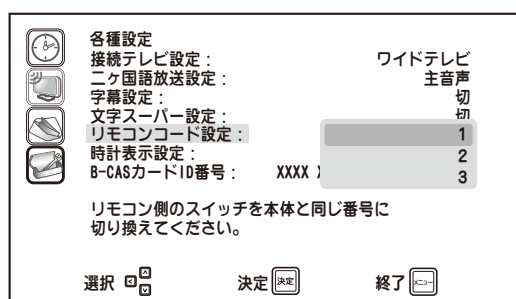
リモコンコードを設定する

本機を同じ部屋に複数台設置される場合には、リモコン信号の混信による誤動作を防ぐため、それぞれの機器に異なるリモコンコードを設定してください。

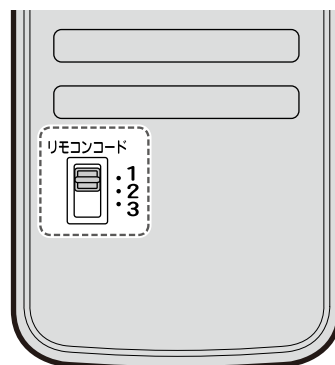
ご参考

- 本体およびリモコンの各リモコンコードは出荷時「1」に設定されています。

1 各種設定メニュー画面で本体のリモコンコードを設定します(63 ページ)

1・2・3 のいずれか（リモコンと同じ番号）を選んで 決定 **ボタン**を押します。

2 リモコン下部にあるリモコンコードスイッチを設定します

1・2・3 のいずれかに切り換えます。

- リモコンと操作したい機器のリモコンコードは必ず同じ番号に合わせてください。

3 設定を確認します

リモコンの 電源 **ボタン**を押して、本機の電源がオン・オフできることを確認してください。

地上デジタル放送を見る

第 4 章

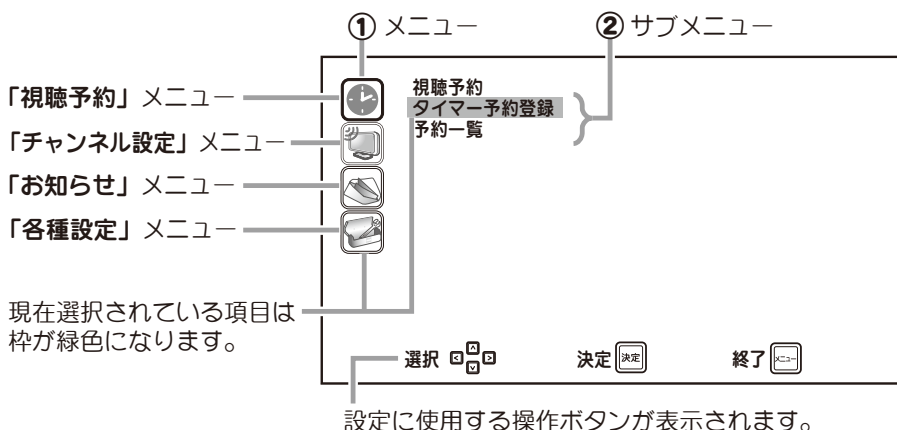
メニュー操作のしかた

メニュー操作のしかた（メニュー）

- [メニュー] **ボタン**を押すとメニュー画面が表示されます。再度押すと元の画面に戻ります。
- メニュー画面では、チャンネル設定や字幕設定などの各種設定、および視聴予約（タイマー予約）ができます。
- 項目設定後、初期（工場出荷時）状態に戻したいときは、設定初期化を行ってください（☞ 64 ページ）。
- 何もしない状態が約 60 秒間続くと画面表示は消えます。[メニュー] **ボタン**を押すと再度表示されます。

メニューの操作と項目設定のしかた

※イラストは「視聴予約」メニューを選択した状態です。

メニューの操作・設定はこれらのボタンで行います

1 [メニュー] **ボタン**を押し、メニューを表示させます。

2 [∧]/[∨] **ボタン**を押し、設定したい第 1 階層のメニュー（①）を選択します。選択されている項目はアイコンの枠が緑色になります。
選択中は右にそのメニューで設定できる第 2 階層のサブメニュー（②）が表示されます。
[決定] **ボタン**を押すと第 2 階層のサブメニューへ移り、選択項目がハイライト（緑色）されます。

3 [∧]/[∨] **ボタン**で選択項目のハイライト（緑色）を動かし、第 2 階層のサブメニューを選択します。

4 第 3 階層の設定を変更するときは、[決定] **ボタン**を押し、[<]/[>]（または [∧]/[∨]）**ボタン**で第 3 階層の設定値を変更します。

5 [決定] **ボタン**を押し、設定を完了させます。
各設定項目は次ページのメニュー一覧表をご覧ください。
各設定項目はすべて同様の方法で設定が行えます。

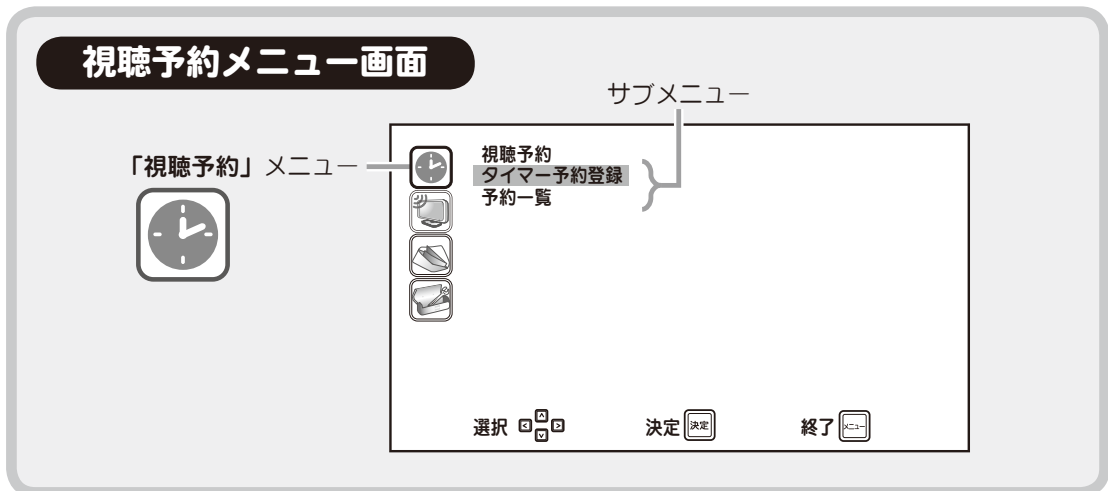
メニュー一覧表

第1階層（メニュー）	第2階層（サブメニュー）	第3階層
視聴予約（54ページ）	●視聴予約メニュー	
	タイマー予約登録	タイマー予約登録
	予約一覧	編集 取消
チャンネル設定（58ページ）	●チャンネル設定メニュー	
	アンテナレベル	受信電波のレベル表示
	ボタン割り当て変更	チャンネル設定リスト
	自動チャンネル設定	「はい」「いいえ」
お知らせ（61ページ）	●お知らせメニュー	
	リスト（未読・タイトル）表示	詳細表示
各種設定（62ページ）	●各種設定メニュー	
	接続テレビ設定	「ワイドテレビ」 「4：3レターボックス」 「4：3パンスキャン」
	二ヶ国語放送設定	「主音声」「副音声」「主/副」
	字幕設定	「切」「言語1」「言語2」
	文字スーパー設定	「切」「言語1」「言語2」
	リモコンコード設定	「1」「2」「3」
	時計表示設定	「切」 「画面表示と連動」 「常に表示」
	B-CASカードID番号	
	バージョン	
	設定初期化	「はい」「いいえ」

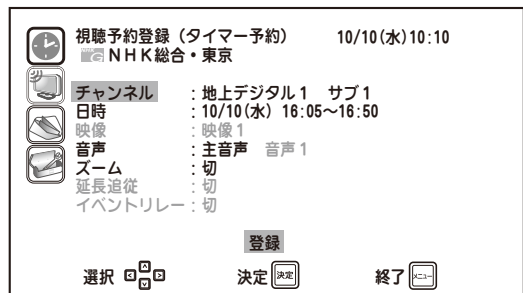
視聴予約

簡易電子番組表で行う視聴予約は番組単位での予約ですが、タイマー予約登録では、日付と時刻をお好みで指定して予約することができます。例えば、同一チャンネルで放送される複数の番組を続けて視聴や録画したいときなどにお使いいただけます。

※簡易電子番組表での視聴予約については、「番組表から視聴予約をする」（☞ 38 ページ）をご覧ください。

視聴予約メニューを表示するには、第 1 階層のメニュー画面で「視聴予約」を [∧] / [∨] **ボタン**で選んで [決定] **ボタン**を押します。画面右側には第 2 階層のサブメニューが表示されます。

視聴予約をする（タイマー予約登録）

1 [∧] / [∨] **ボタン**で「タイマー予約登録」を選んで [決定] **ボタン**を押すと、視聴予約登録画面が表示されます。

2 各項目を設定します。
設定および登録の方法は「番組表から視聴予約をする」手順 2（☞ 39 ページ）と同様です。

「チャンネル」：チャンネルを設定します。
※番組表からの予約とは異なり、番組名の表示や登録は行われません。

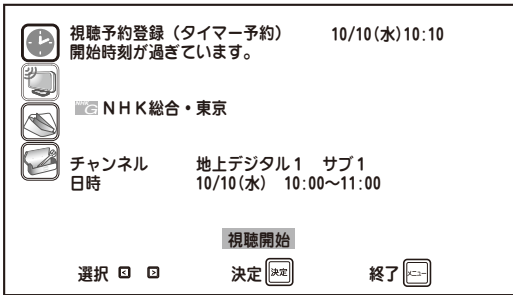
「日時」：予約を開始・終了する日付と時間を設定します。

「音声」：二ヶ国語放送や複数音声番組の場合、音声を切り換えることができます。

「ズーム」：ズーム画面表示に設定できます。
※ズーム機能については 48 ページをご覧ください。

視聴予約（つづき）

3 設定が終わったら [∧] / [∨] **ボタン**または [<] / [>] **ボタン**で「登録」を選択し、[決定] **ボタン**を押します。

正しく予約登録が完了しないときは

視聴予約登録（タイマー予約）　10/10(水)10:10
開始時刻が過ぎています。

NHK総合・東京

チャンネル　地上デジタル１　サブ１
日時　10/10(水)　10:00～11:00

視聴開始

選択 ◁ ▷　決定 [決定]　終了 [メニュー]

登録する視聴予約の開始時刻が過ぎているときに表示されます。

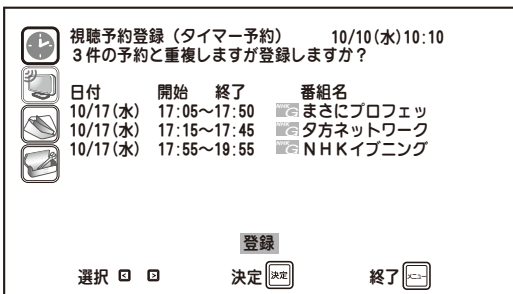
[決定] **ボタン**を押すと番組画面が表示され、予約が開始されます。

[戻る] **ボタン**を押すと、前の画面に戻ります。

視聴予約登録（タイマー予約）　10/10(水)10:10
３件の予約と重複しますが登録しますか？

日付	開始　終了	番組名
10/17(水)	17:05～17:50	まさにプロフェッ
10/17(水)	17:15～17:45	夕方ネットワーク
10/17(水)	17:55～19:55	ＮＨＫイブニング

登録

選択 ◁ ▷　決定 [決定]　終了 [メニュー]

同じ日時にすでに視聴予約が登録されているときに表示されます。

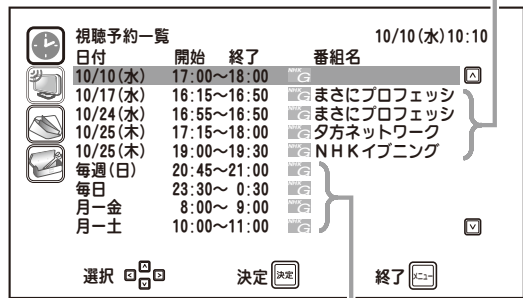
[戻る] **ボタン**を押すと、前の画面に戻ります。

そのまま登録する場合は、[決定] **ボタン**を押します。

※この場合、登録が完了しても予約が正しく機能しない（選局されない）場合があります。

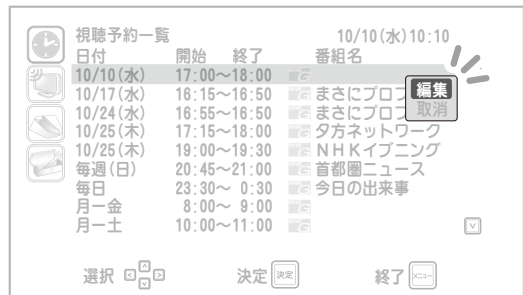
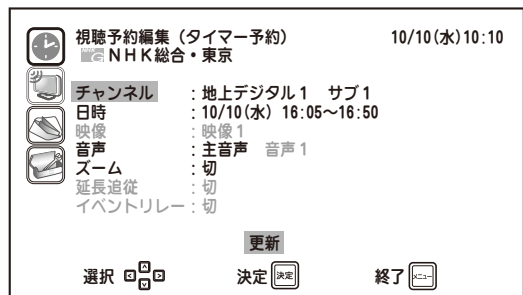
視聴予約（つづき）

予約一覧と予約の編集・取消

登録されている視聴予約を一覧で確認できます。また、予約の編集や取り消しをすることができます。

■ 視聴予約一覧を見る

視聴予約のサブメニュー画面から [∧] / [∨] **ボタン**で「予約一覧」を選んで [決定] **ボタン**を押すと、視聴予約一覧が表示されます。

ご注意

- **予約の重複について**
  灰色の文字で表示されている視聴予約は予約が重複しており、視聴予約が正しく機能しません。設定内容を再度ご確認ください。

■ 視聴予約を編集する

1 視聴予約一覧から編集したい視聴予約を選んで（緑色表示）[決定] **ボタン**を押すと、ポップアップメニューが表示されます。

2 [∧] / [∨] **ボタン**で「編集」を選んで [決定] **ボタン**を押すと、設定画面が表示されます。

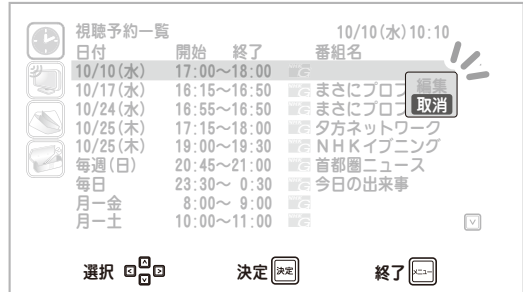
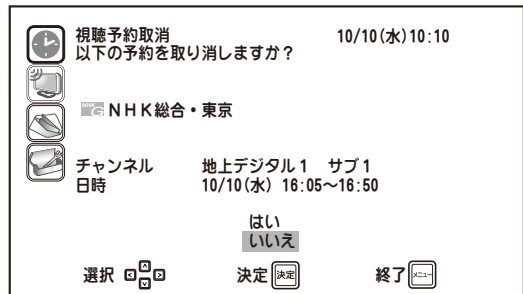
編集のしかたや設定内容については 54 ページの「視聴予約をする」手順 2 をご覧ください。

3 設定が終わったら [∧] / [∨] **ボタン**で「更新」を選択し、[決定] **ボタン**を押します。
終了するには [メニュー] **ボタン**を押します。

視聴予約（つづき）

予約一覧と予約の編集・取消（つづき）

■ 視聴予約を取り消す

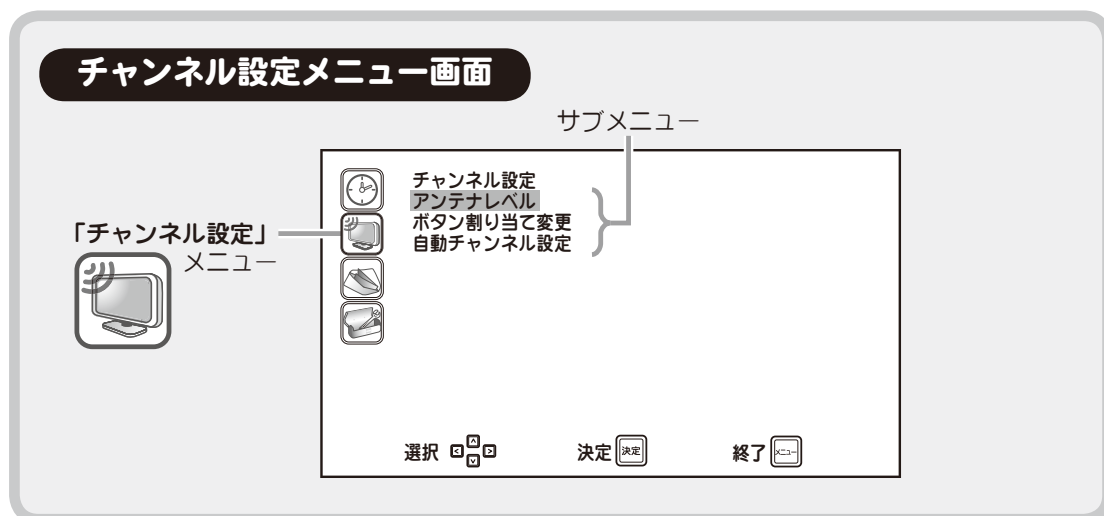
1 視聴予約一覧から取り消したい視聴予約を選んで（緑色表示）［決定］**ボタン**を押すと、ポップアップメニューが表示されます。

2 ［∧］/［∨］**ボタン**で「取消」を選んで［決定］**ボタン**を押すと、予約取消確認画面が表示されます。

［∧］/［∨］**ボタン**で「はい」を選択し、［決定］**ボタン**を押すと、視聴予約が取り消されます。

［メニュー］**ボタン**を押すと終了します。

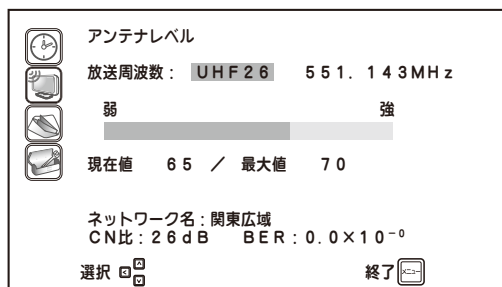
視聴予約機能ご使用時のご注意

- 視聴予約の実行に失敗したときは、「お知らせ」にメッセージが追加されます。
- **<u>視聴予約実行中は、電源ボタン以外は操作できません。</u>**
- リモコンの電源ボタンを押すと視聴予約を中止します。
  （画面左下に「視聴予約を中断しました」と表示されます。）

チャンネル設定

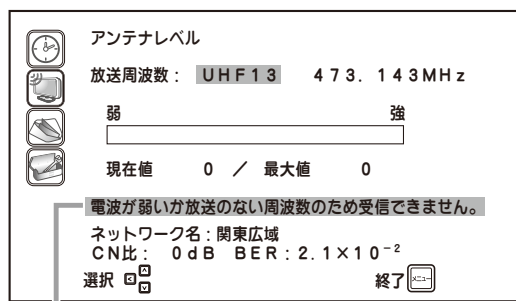
第1階層のメニュー画面で「チャンネル設定」を∧/∨**ボタン**で選び、決定**ボタン**を押します。
画面右側には第2階層のサブメニューが表示されます。

アンテナレベル

チャンネル設定サブメニューで「アンテナレベル」を選択すると、右記の画面が表示されます。
現在ご覧になっているチャンネルのアンテナが受信している電波強度を確認することができます。

メニュー **ボタン**を押してメニューを終了します。

受信レベルを確認するだけで数値の変更はできません。数値が極端に低く、画質が悪いときは、アンテナの向きを変更するなど設置条件を変更してください（☞22ページ）。

※受信レベルは55* 以上となるようにしてください。

* 数値は目安です。チャンネルによっては受信できない場合もあります。

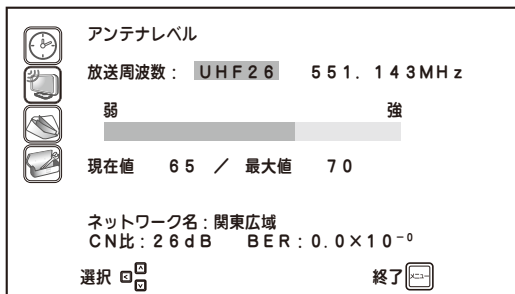
電波が受信できない場合は、表示画面下側に右のように表示されます。

受信電波レベルが不十分な場合に表示されます。

チャンネル設定（つづき）

ご参考

- ネットワーク名について
  受信チャンネルの放送地域を表します。
  お住まいの地域やアンテナの向きによっては他地域のネットワーク名が表示されることがあります。
- CN（Carrier to Noise）比について
  搬送波対雑音の比を表します。
  数値が高いほど受信状態が良くなります。
- BER（Bit Error Rate）について
  ビット誤り率を表します。数値が低いほど受信状態が良くなります。
  ※ 表示される値は参考値です。

アンテナレベル
放送周波数： UHF26　551．143MHz
弱　強
現在値　65　／　最大値　70
ネットワーク名：関東広域
CN比：26dB　BER：0.0×10⁻⁰
選択　終了

- **チャンネル選局（▲／▼）ボタン**を押すとボタン割り当てされたチャンネルのみの切り換えが行われますが、∧／∨ **ボタン**を押した場合は割り当てられていないチャンネルも順次切り換えることができます。

ボタン割り当て変更設定

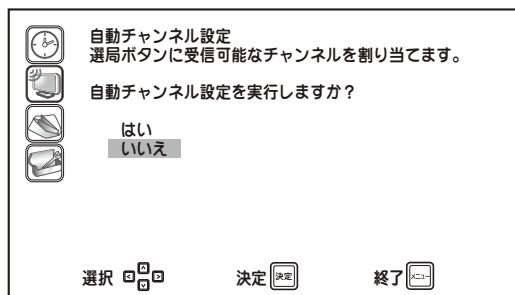
自動チャンネル設定により、ボタン割り当てが同じ複数の局を受信した場合、うち１局はボタン表示部分に－－と表示され、選局することができません。空いている任意のボタン数字を設定して、受信した各チャンネルにボタンを割り当て、選局できるようにします。また、割り当てられているボタン数字を変更する場合にも以下の操作を行います。

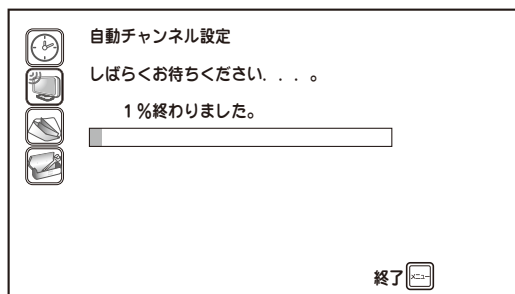
1. チャンネル設定のサブメニューで「ボタン割り当て変更」を選び、決定 **ボタン**を押します。
2. ∧／∨ **ボタン**で変更したい放送局を選び、決定 **ボタン**を押します。
3. ∧／∨ **ボタン**で空いている数字を選びます。
4. 決定 **ボタン**を押し、設定を完了させます。
5. さらにボタン割り当て変更を続ける場合、2～4を繰り返します。
6. メニュー **ボタン**を押してメニューを終了します。

チャンネル設定（つづき）

自動チャンネル設定

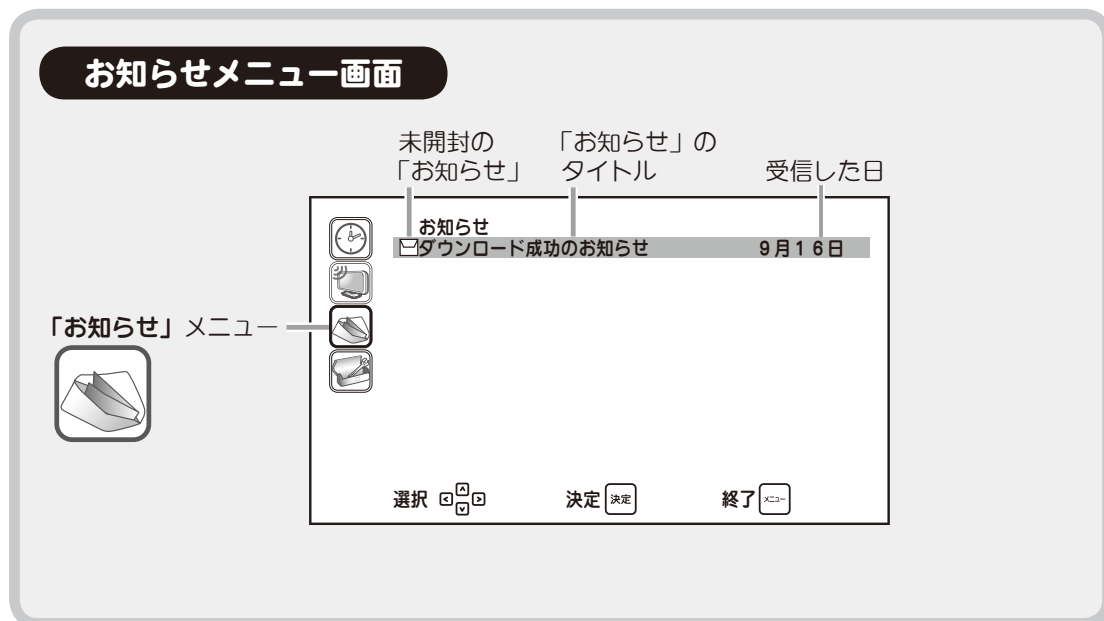
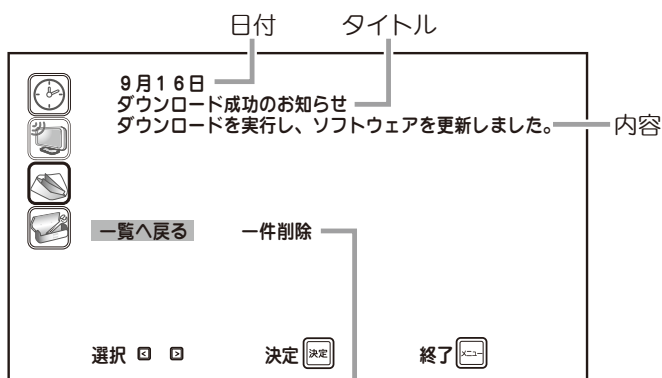
自動チャンネル設定は「初期設定をする」（☞ 29 ページ）で完了していますが、引越し等で受信チャンネルの変更が必要な場合は、下記の要領で自動チャンネル設定を行ってください。

チャンネル設定のサブメニューで「自動チャンネル設定」を選択すると右の画面が表示され、自動チャンネル設定の実行・中止を選択できます。

画面は最初、「いいえ」が選択されています。
∧ / ∨ **ボタン**で「はい」を選択し、
決定 **ボタン**を押すと受信チャンネルの自動スキャンを開始します。

※スキャン中に メニュー **ボタン**を押した場合は、
　スキャンを中止し元の受信画面に戻ります。

スキャンが終了すると、画面には数字ボタン「1」に割り当てられたチャンネルが表示されます。

お知らせ

第 1 階層のメニュー画面で「お知らせ」を [∧] / [∨] **ボタン**で選び、[決定] **ボタン**を押します。
画面右側には第 2 階層のサブメニュー（リスト）が表示されます。

※お知らせが 1 件もない場合は「お知らせはありません」と表示されます。

サブメニューから [∧] / [∨] **ボタン**で表示したい項目を選択し、[決定] **ボタン**を押すとその詳細が表示されます。

ご注意

- お知らせは最大 32 件まで保存されます。32 件を超えて新たに受信した場合は、一番古いお知らせから削除されます。

各種設定

第 1 階層のメニュー画面で「各種設定」を [∧] / [∨] **ボタン**で選び、[決定] **ボタン**を押します。
画面右側には第 2 階層のサブメニューが表示されます。[∧] / [∨] **ボタン**でサブメニューを選び、[決定] **ボタン**を押します。

※ソフトウェアは自動更新されます。
表示されるバージョン名はソフトウェアにより異なります。

接続テレビ設定

接続するテレビに合わせて設定します。

※設定の詳細については、「初期設定をする」（☞ 28 ページ）をご覧ください。

[∧] / [∨] **ボタン**で選択し、[決定] **ボタン**で設定します。

二ヶ国語放送設定

音声モードの切換設定を行います。

- 主音声：　主音声を出力します。
- 副音声：　副音声を出力します。
- 主 / 副音声：　主＋副音声を出力します。

[∧] / [∨] **ボタン**で選択し、[決定] **ボタン**で設定します。

各種設定（つづき）

字幕設定

字幕表示の設定を行います。

- 切：　表示しません。
- 言語 1：　言語 1 を表示します。
- 言語 2：　言語 2 を表示します。

∧/∨ **ボタン**で選択し、決定 **ボタン**で設定します。

文字スーパー設定

文字スーパーの表示設定を行います。

- 切：　表示しません。
- 言語 1：　言語 1 を表示します。
- 言語 2：　言語 2 を表示します。

∧/∨ **ボタン**で選択し、決定 **ボタン**で設定します。

リモコンコード設定

本機のリモコンコード番号を設定します。

∧/∨ **ボタン**で選択し、決定 **ボタン**で設定します。

時計表示設定

デジタル放送視聴時に表示される現在時刻の表示方法を設定します。

- 切　：表示しません。
- 画面表示と連動　：画面表示ボタン（☞ 44 ページ）を押すたびに表示・非表示が切り換わる
- 常に表示　：常に画面右下に表示する

∧/∨ **ボタン**で選択し、決定 **ボタン**で設定します。

B-CAS カード ID 番号

B-CAS カード ID 番号を表示します。

バージョン

ソフトウェアのバージョンを表示します。

各種設定（つづき）

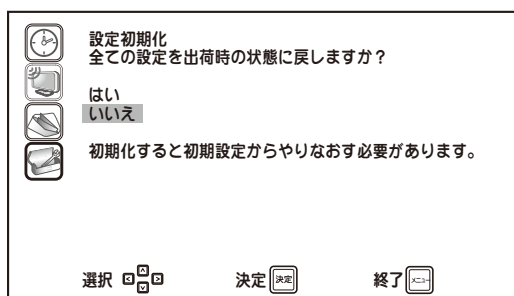
設定初期化（工場出荷設定）

本機の設定を工場出荷時の状態に戻すためには以下の操作を行ってください。

- 初期化中は、絶対に AC アダプタを抜かないでください。
- 初期化中はすべてのボタン操作ができません。

1 第 1 階層のメニュー画面で「各種設定」を∧/∨**ボタン**で選び、決定**ボタン**を押します。
画面右側には第 2 階層のサブメニューが表示されます。

2 ∧/∨ **ボタン**を押し、「設定初期化」を選択します。

3 決定 **ボタン**を押すと、設定初期化画面が表示されます。

4 ∧/∨ **ボタン**で「はい」を選択し、決定 **ボタン**を押すと初期化を開始します。

初期化が完了すると、初期設定メニュー画面（☞ 28 ページ）が表示されます。

5

第 5 章
ご参考

ソフトウェアのダウンロード

ダウンロードについて

ダウンロード機能とは、本機のソフトウェアを最新の内容に書き換えて、機能の追加や改善を行うためのものです。本機は地上デジタル放送によるソフトウェアの自動ダウンロードに対応していますので、操作や設定を行うことなく常に最新版に更新されたソフトウェアでご使用いただけます。

■ 自動でダウンロードが行われるためには

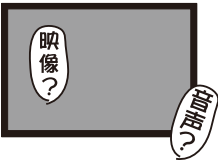
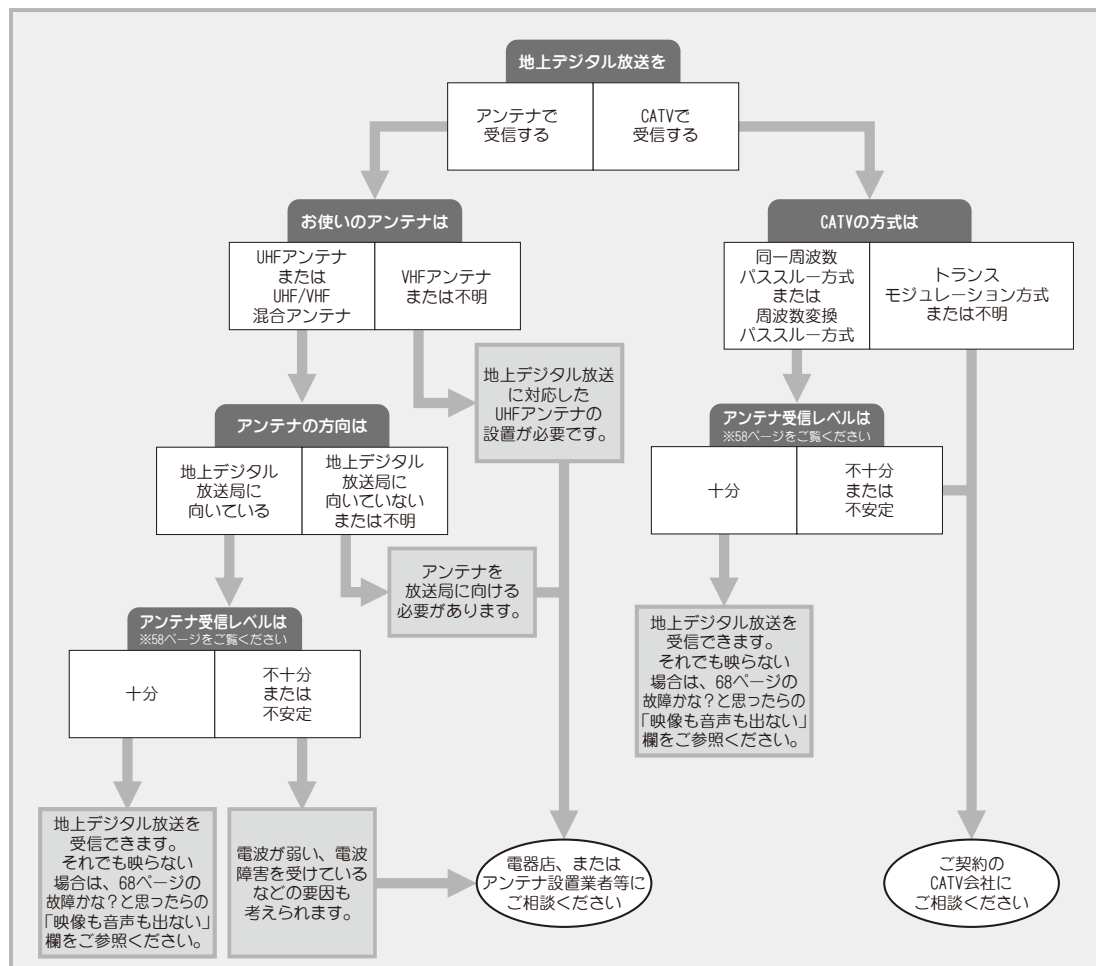
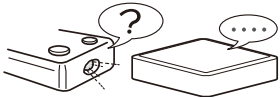
- あらかじめ本機の電源を入れ、地上デジタル放送を数分間受信する必要があります。（本機がダウンロード情報を取得するためです。）
- ダウンロードは電源待機状態（電源ランプ赤点灯）のときだけ行われます。

■ダウンロードが正常に終了すると

- ダウンロード成功のお知らせが届きます。メニューから「お知らせ」を選択して確認します（☞61 ページ）。

■ソフトウェアのバージョンを確認するには

- メニューから「各種設定」を選択して確認します（☞63 ページ）。

地上デジタル放送が受信できないときは

地上デジタル放送が正しく受信できない場合は、下記のフローチャートにしたがってお確かめください。また、必要に応じて電器店、アンテナ設置業者、CATV 会社等にお問い合わせください。

- 本機は BS デジタルチューナーおよび 110 度 CS デジタルチューナーを内蔵しておりません。BS デジタル放送および 110 度 CS デジタル放送をご覧になる場合は、別途 BS デジタルチューナーおよび 110 度 CS デジタルチューナーをお求めください。
- アンテナの設置や地上デジタル放送に対応したアンテナかどうかについて、詳しくは電器店やアンテナ設置業者等にご相談ください。
- CATV をお使いの場合、詳しくは各 CATV 会社にご相談ください。
- マンションなど集合住宅の場合、詳しくはお住まいの管理組合または管理会社等にご相談ください。
- 地上デジタル放送は 現在の地上アナログ放送との混信を避けるため、当初は非常に小さい出力で送信されますので受信エリアが限定されます。
- 受信障害のある環境では放送エリア内でも受信できないことがあります。
- 専用の UHF アンテナ、デジタル放送対応のブースター・分配器などの機器が必要なことがあります。
- 地上デジタル放送局からの送信出力が増大されたときは、アンテナやブースターなど受信設備の再調整や変更が必要になることがあります。
- 本機では地上デジタル放送の電波の送出の変更に関する情報、周波数変更、新規の変更などを電波を通じて受信すると、「お知らせメッセージ」にメッセージが追加されます。それに合わせてチャンネルの再設定を行ってください。
- 地上アナログ放送などの電波の送出の変更については、新聞やテレビなどでの告知にご注意ください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に次のことをもう一度お調べください。次のことを調べても、なお異常があるときは、お買い上げの販売店へお問い合わせください。

こんなときには…	ここをご確認ください	ページ
映像も音声も出ない 映像？ 音声？	●AC アダプタが正しく接続されていますか？ ●リモコンの電源ボタンを押しましたか？ ●アンテナは地上デジタル放送に対応していますか？ ●アンテナおよび各機器の接続は正しいですか？ ●各種設定は正しいですか？ ●テレビ側の入力切換で、本機が接続されていない入力端子を選んでいませんか？	26 27 22 21 ～ 24 62 27
音声が出ない 音声？	●テレビの音量調整が最小になっていませんか？ ●テレビが消音になっていませんか？ ●音声入力端子に音声ケーブルは接続されていますか？	34 34 23
ブロックノイズが出る	●電波状態が悪いことが考えられます。 ●アンテナは地上デジタル放送に対応していますか？	22 22
映像が横長や縦長になる	●接続テレビ設定が接続されているテレビに合っていますか？	28, 62
映像がモザイク状になる	●電波状態が悪い場合が考えられます。	22
字幕が出ない	●字幕の設定が「切」になっていませんか？ ●字幕のある番組を視聴していますか？	63 45

故障かな？と思ったら（つづき）

こんなときには…	ここをご確認ください	ページ
リモコンが動作しない	●電池は正しい向きで入っていますか？	20
	●リモコンの電池寿命が考えられます。	20
	●蛍光灯の強い光や直射日光がリモコン受光部に当たっていませんか？	20
	●本体とリモコンのリモコンコードは同じ番号になっていますか？	49, 63
	●視聴予約が実行されていませんか？	40, 57
簡易電子番組表に表示される番組が少ない	●本機の電源を待機中にしておくと、簡易電子番組表が自動的に取得されます。	―
	●長時間 AC アダプタやアンテナケーブルをはずしたあとに電源を入れると、簡易電子番組表に表示される番組が少なくなることがあります。	―

● 本機は外部からの雑音や妨害ノイズにより、正常に動作しないことがあります。
このようなときは一度 AC アダプタをコンセントから抜き、数分後、再度コンセントに差し込み、電源を入れてご使用ください。
● 本機は地上デジタル放送の「ワンセグ」には対応しておりません。

エラーメッセージ

画面に以下のエラーメッセージが表示された場合は、放送を視聴できません。

メッセージ	内　容
受信できません（E202）	• 電波状況が悪いことが考えられます。アンテナケーブルが抜けていませんか？（☞ 21 ページ）
放送休止中のため受信できません。	• 放送再開までお待ちください。
受信できるチャンネルがありません。アンテナ接続を確認して自動チャンネル設定を行ってください。	• アンテナが正しく接続されていないまま、初期設定を行ったことが考えられます。アンテナ接続を確認して自動チャンネル設定を行ってください。（☞ 60 ページ）
このボタンにはチャンネルが割り当てられていません。	• ボタンにチャンネルが割り当てられていないときに表示されます。割り当てが必要な場合には、「自動チャンネル割り当てについて」（☞ 29 ページ）および「ボタン割り当て変更設定」（☞ 59 ページ）を参照してください。
B-CAS カードを挿入してください。	• B-CAS カードが正しく挿入されていないときに表示されます。B-CAS カードを正しく挿入してください。（☞ 25 ページ）

■ 緊急警報放送（EWS）について

緊急警報放送（EWS）とは…
大規模災害などの非常事態が発生した場合に、緊急警報放送局より専用チャンネルで送信し、視聴者にいち早く情報を知らせる放送システムです。

緊急警報放送（EWS）受信時の本機の動作

・ 視聴中の放送局で緊急警報放送が開始されると、自動的に緊急警報放送のチャンネルに切り換わります。
・ 一度選局された緊急警報放送のチャンネルは、放送終了または電源を「入」「切」するまでは自動では再選局しません。
・ 緊急警報放送が終了しても、切り換わったチャンネルはそのままです。元のチャンネルには戻りません。再度、お好みのチャンネルを選局してください。

仕様

形名	HTU-S3
電源	DC 電圧 5V
許容動作環境	0 ～ 40℃
消費電力	3.8W（待機時：0.3W 以下）
受信可能放送	地上デジタル （CATV の場合、同一周波数パススルー方式および周波数変換パススルー方式に対応）
簡易電子番組表（EPG）	対応
字幕放送	対応
データ放送	非対応
双方向（データ放送）サービス	非対応
端子	ビデオ（コンポジット）出力端子 .... 1 個 音声出力端子 ....2 個（1 系統） DC 入力端子 .... 1 個 地上デジタルアンテナ端子 .... 1 個
外形寸法	幅 120 ×高さ 30 ×奥行 150（mm）
本体質量	約 220g
付属品	リモコン送信機 1 個 単 4 形乾電池 2 本 AC アダプタ（型名：AD-1079）1 個 RF ケーブル 1 本 映像（コンポジット）・音声コード 1 本 取扱説明書 1 冊

- 本仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。
- この機器を使用できるのは日本国内のみで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
  This unit is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
- 本機のメニュー画面や画面で表示されるフォントとして、株式会社リコーが製作したリコービットマップフォントを使用しています。

寸法図

単位：(㎜)

ご参考

ご相談窓口（家庭電器製品の表示に関する公正競争規約により表示）

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は エコーセンターへ	商品情報やお取り扱いについてのご相談は お客様相談センターへ
TEL 0120-3121-68 FAX 0120-3121-87 （受付時間） 9:00～19:00（365日） 携帯電話、PHSからもご利用できます。	TEL 0120-8802-28 FAX 03-3260-9739 （受付時間） 9:00～17:30 携帯電話、PHSからもご利用できます。 土曜・日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

- 「出張修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
- お客様が弊社にお電話いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。
- 火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変、塩害、公害、ガス害（硫化ガスなど）や異常電圧、指定外の使用電源（電圧・周波数）による故障および損傷、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意又は過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

保証とアフターサービス

保証書

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。
保証期間・・・お買い上げ日から1 年です。

補修用性能部品保有期間

地上デジタルチューナーの補修用性能部品の保有期間は製造打切り後８年です。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りの「ご相談窓口」にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは（出張修理）

68, 69ページにしたがって調べていただき、なお異常のあるときは、必ずAC アダプタを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　　名	地上デジタルチューナー
形　　名	本体：HTU-S3　リモコン：HT-RM2
お買上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印なども合わせてお知らせください。
お　名　前	
電話番号	
訪問ご希望日	

修理料金のしくみ

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費、一般管理費などが含まれています。
＋	
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります
＋	
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

ご購入店名、ご購入年月日を記入しておいてください。サービスを依頼されるときに便利です。

ご購入店名	ご購入年月日

長年ご使用の地上デジタルチューナーの点検をぜひ！・・・・・・・・

熱、湿気、ほこりなどの影響や、使用度合いにより部品が劣化し、故障したり、ときには安全を損なって事故につながることもあります。

愛情点検

このような症状はありませんか

- ●電源を入れても音が出ない。
- ●ジージーパチパチと異常な音がする。
- ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- ●電源を切っても、音が消えない。
- ●内部に水や異物が入った。

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源を切り、AC アダプタをコンセントから抜いて必ず販売店にご相談ください。

株式会社 日立リビングサプライ

〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-29（アクロポリス東京）
TEL. 03（3260）9611
FAX. 03（3260）9739

さくいん

英数

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

ワ行

地上デジタルチューナー保証書 出張修理

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。
お買い上げの日から下記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

形名	HTU-S3	※お買い上げ日	保証期間
		平成　年　月　日	本体：**1年**
※お客様	ご住所 ご芳名	〒　－ 様	
※販売店	住所 店名	〒　－ TEL	

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

---

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
（イ）使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障及び損傷。
（ロ）お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送等による故障及び損傷。
（ハ）火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変、塩害、公害、ガス害（硫化ガスなど）や異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）による故障及び損傷。
（ニ）車両、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。
（ホ）一般家庭用以外（例えば業務用等への長時間使用等）に使用された場合の故障及び損傷。
（ヘ）本書のご提示がない場合。
（ト）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
（チ）故障の原因が本機以外にある場合で改善を要するとき。
（リ）消耗部品が自然消耗、摩耗、劣化した場合の交換。

2. 離島または離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、取扱説明書のお客様ご相談窓口をご覧の上、ご相談ください。
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。
6. 修理に伴う商品の移送に要する送料等は、お客様の負担となります。
7. 本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはご相談窓口にお問い合せください。
- 保証期間経過後の修理によって使用できる製品は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。
- この地上デジタルチューナーの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後8 年です。
- 補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

株式会社 日立リビングサプライ
〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-29（アクロポリス東京）
TEL. 03（3260）9611
FAX. 03（3260）9739